2022年度（前期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅠ			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	32	AD実務経験有

□　授業概要

自身の自己分析と業界・分野の理解を深める。

□　授業テーマ

報告、連絡、相談の徹底を認識させ、実行する。

	□　授業項目		**□　授業内容**
1		ホームルーム I-1	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
2		ホームルーム I-2	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
3		ホームルーム I-3	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
4		ホームルーム I-4	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
5		ホームルーム I-5	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
6		ホームルーム I-6	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
7		ホームルーム I-7	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
8		ホームルーム I-8	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
9		ホームルーム I-9	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
10		ホームルーム I-10	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
11		ホームルーム I-11	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
12		ホームルーム I-12	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
13		ホームルーム I-13	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
14		ホームルーム I-14	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
15		ホームルーム I-15	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
16		ホームルーム I-16	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等

□　到達目標

報連相の徹底

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅠ			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	32	AD実務経験有

□　授業概要

自身の自己分析と業界・分野の理解を深める。

□　授業テーマ

現場で即戦力となる人材を目指す。

□　授業項目			□　授業内容
1		ホームルーム I-17	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
2		ホームルーム I-18	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
3		ホームルーム I-19	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
4		ホームルーム I-20	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
5		ホームルーム I-21	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
6		ホームルーム I-22	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
7		ホームルーム I-23	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
8		ホームルーム I-24	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
9		ホームルーム I-25	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
10		ホームルーム I-26	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
11		ホームルーム I-27	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
12		ホームルーム I-28	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
13		ホームルーム I-29	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
14		ホームルーム I-30	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
15		ホームルーム I-31	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等
16		ホームルーム I-32	ホームルーム、履歴書指導、会社説明会、個人面談等

□　到達目標

報連相の徹底

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習Ⅰ			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	PA業務実績有り

□　授業概要

PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる

□　授業テーマ

PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。
自分の役割を意識して効率的且つ安全に作業ができるようになる。

□　授業項目			□　授業内容
1		PA基礎 I-1	クレア機材移動作業・授業内容説明・自己紹介
2		PA基礎 I-2	Liveイベントセッティング
3		PA基礎 I-3	ケーブル巻き①
4		PA基礎 I-4	ケーブル巻き②
5		PA基礎 I-5	mic/SPスタンド立て
6		PA基礎 I-6	SPスタッキング
7		PA基礎 I-7	テスト（学校機材に関する内容）
8		PA基礎 I-8	プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証
9		PA基礎 I-9	プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証
10		PA基礎 I-10	15'min 仕込み実習
11		PA基礎 I-11	15'min 仕込み実習
12		PA基礎 I-12	15'min 仕込み実習
13		PA基礎 I-13	15'min 仕込み実習
14		PA基礎 I-14	テスト（学校機材に関する内容）
15		PA基礎 I-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PA基礎 I-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習Ⅰ			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	PA業務実績有り

□　授業概要

PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる

□　授業テーマ

PAシステムを理解し、自力で組み、音出しができるようになる。
自分の役割を意識して効率的且つ安全に作業ができるようになる。

□　授業項目			□　授業内容
1		PA実習 I-17	クレア機材移動作業・授業内容説明・自己紹介
2		PA実習 I-18	Liveイベントセッティング
3		PA実習 I-19	ケーブル巻き①
4		PA実習 I-20	ケーブル巻き②
5		PA実習 I-21	mic/SPスタンド立て
6		PA実習 I-22	SPスタッキング
7		PA実習 I-23	テスト（学校機材に関する内容）
8		PA実習 I-24	プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証
9		PA実習 I-25	プランニング・仕込み計画・打ち合わせ・検証
10		PA実習 I-26	15'min 仕込み実習
11		PA実習 I-27	15'min 仕込み実習
12		PA実習 I-28	15'min 仕込み実習
13		PA実習 I-29	15'min 仕込み実習
14		PA実習 I-30	テスト（学校機材に関する内容）
15		PA実習 I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PA実習 I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅰ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	照明会社

□　授業概要

ピンスポットの基本操作～複雑な操作フォローの習得

□　授業テーマ

	□　授業項目	□　授業内容
1	照明実習 I-1	ピンスポット実践１（役割）
2	照明実習 I-2	ピンスポット実践２（構造）
3	照明実習 I-3	ピンスポット実践３（電力）
4	照明実習 I-4	ピンスポット実践４（場所）
5	照明実習 I-5	ピンスポット実践５（過去の事例）
6	照明実習 I-6	ピンスポット実践６（学内にあるピsンスポット）
7	照明実習 I-7	ピンスポット実践７（各ホールにあるピンスポット）
8	照明実習 I-8	ピンスポット実践８　狙ってみよう！①
9	照明実習 I-9	ピンスポット実践９　狙ってみよう！②
10	照明実習 I-10	ピンスポット実践１０　狙ってみよう！③
11	照明実習 I-11	ピンスポット実践１１　色をtける①
12	照明実習 I-12	ピンスポット実践１２　色をつける②
13	照明実習 I-13	ピンスポット実践１３　色をつける③
14	照明実習 I-14	ピンスポット実践１４　その他のエフェクト①
15	照明実習 I-15	ピンスポット実践１５　その他のエフェクト②
16	照明実習 I-16	まとめ

□　到達目標

□　評価方法

総合評価(知識・内容・技術)

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅰ			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	照明会社

□　授業概要

Pinの総合的な操作の習得LEDと卓の基本操作の習得

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		照明実習 I-17	クセノンピンの構造理解
2		照明実習 I-18	ダウザーレバーでの横の振りの感覚の習得
3		照明実習 I-19	アイリスレバーでのF/i～F/Oの習得
4		照明実習 I-20	ネライを使っての正確なF/i～F/Oの習得
5		照明実習 I-21	ダウザーレバーでのC/I～C/Oの習得
6		照明実習 I-22	ピンの構造と役割に関する筆記テスト
7		照明実習 I-23	F/I～FO/とC/I～C/OのMIXでのレバー操作
8		照明実習 I-24	フォローしながらのIN～OUT
9		照明実習 I-25	カラーフィルターを使った操作
10		照明実習 I-26	2色以上のチェンジ
11		照明実習 I-27	フォローしながらのIN～OUT
12		照明実習 I-28	楽曲でのPINのプラン
13		照明実習 I-29	ピンの操作に関する筆記テスト
14		照明実習 I-30	クール末イベントにむけて
15		照明実習 I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		照明実習 I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングⅠ			4	壇浦　正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	マーケティング講師

□　授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。
マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

□　授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

	授業項目	授業内容
1	マーケティングⅠ-1	さまざまなマーケティングの定義
2	マーケティングⅠ-2	マーケティングは誰がするのか
3	マーケティングⅠ-3	マーケティングの考え方は変わっていく
4	マーケティングⅠ-4	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	マーケティングⅠ-5	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	マーケティングⅠ-6	マーケティングに求められる役割
7	マーケティングⅠ-7	振り返り
8	マーケティングⅠ-8	外部環境分析PEST
9	マーケティングⅠ-9	3C分析
10	マーケティングⅠ-10	SWOT分析
11	マーケティングⅠ-11	SWOT分析　内部環境とマトリクス
12	マーケティングⅠ-12	マーケティングの目標の設定
13	マーケティングⅠ-13	STPの概要
14	マーケティングⅠ-14	セグメンテーション（市場細分化）
15	マーケティングⅠ-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	マーケティングⅠ-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングⅠ			4	壇浦　正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	マーケティング講師

□　授業概要

マーケティングが有効かどうか？を検証します。

マーケティングが有効だと理解し、実践に活用できるように整えます。

□　授業テーマ

大企業のビジネスモデルからマーケティング基礎を学びます。

	□　授業項目	□　授業内容
1	マーケティングⅠ-17	さまざまなマーケティングの定義
2	マーケティングⅠ-18	マーケティングは誰がするのか
3	マーケティングⅠ-19	マーケティングの考え方は変わっていく
4	マーケティングⅠ-20	マーケティングの基本概念（ニーズと市場）
5	マーケティングⅠ-21	マーケティングの基本概念（ベネフィット、価値、他）
6	マーケティングⅠ-22	マーケティングに求められる役割
7	マーケティングⅠ-23	振り返り
8	マーケティングⅠ-24	外部環境分析PEST
9	マーケティングⅠ-25	3C分析
10	マーケティングⅠ-26	SWOT分析
11	マーケティングⅠ-27	SWOT分析　内部環境とマトリクス
12	マーケティングⅠ-28	マーケティングの目標の設定
13	マーケティングⅠ-29	STPの概要
14	マーケティングⅠ-30	セグメンテーション（市場細分化）
15	マーケティングⅠ-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	マーケティングⅠ-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントを運営する上でマーケティングの必要性の理解。

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	必須	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業項目			□　授業内容
1		PTオペレーション I-1	オリエンテーション
2		PTオペレーション I-2	Native/DSPプラグイン
3		PTオペレーション I-3	ロクロス等フェードの応用
4		PTオペレーション I-4	ビートディテクティブ
5		PTオペレーション I-5	AudioSuite
6		PTオペレーション I-6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7		PTオペレーション I-7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない
8		PTオペレーション I-8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用
9		PTオペレーション I-9	オリエンテーション
10		PTオペレーション I-10	クリップ情報について解説
11		PTオペレーション I-11	ステムトラックの作成方法
12		PTオペレーション I-12	変拍子のセッションの作成
13		PTオペレーション I-13	イン/エクスポート・バウンス
14		PTオペレーション I-14	グループ化の実用例
15		PTオペレーション I-15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PTオペレーション I-16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロ

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーション I			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	必須	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

	□　授業項目	□　授業内容
1	PTオペレーション I-17	オリエンテーション
2	PTオペレーション I-18	タブを用いた編集
3	PTオペレーション I-19	メーターの種類
4	PTオペレーション I-20	エラスティックオーディオ
5	PTオペレーション I-21	サイドチェイン
6	PTオペレーション I-22	トラブルシューティング
7	PTオペレーション I-23	テイク管理・セレクト
8	PTオペレーション I-24	テイク管理・セレクト
9	PTオペレーション I-25	オリエンテーション
10	PTオペレーション I-26	オペレーション実習、制作作業
11	PTオペレーション I-27	オペレーション実習、制作作業
12	PTオペレーション I-28	オペレーション実習、制作作業
13	PTオペレーション I-29	オペレーション実習、制作作業
14	PTオペレーション I-30	オペレーション実習、制作作業
15	PTオペレーション I-31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	PTオペレーション I-32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーシ

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択必須	64	PA業務多数有り

□　授業概要

音の特性を理科し、環境に合わせた音響作りを目指す。

□　授業テーマ

音楽の様に音単体でも成立表とは別に、映像の補助的な役割など、シーンに合わせた対応を知る。

□　授業項目			□　授業内容
1	／	ライブ音響 1	基本知識 1
2	／	ライブ音響 2	基本知識 2
3	／	ライブ音響 3	準備について 1
4	／	ライブ音響 4	準備について 2
5	／	ライブ音響 5	さまざま音源 1
6	／	ライブ音響 6	さまざま音源 2
7	／	ライブ音響 7	エフェクトと演出 1
8	／	ライブ音響 8	エフェクトと演出 2
9	／	ライブ音響 9	補正とは？ 1
10	／	ライブ音響 10	補正とは？ 2
11	／	ライブ音響 11	ミキシング 1
12	／	ライブ音響 12	ミキシング 2
13	／	ライブ音響 13	環境について 1
14	／	ライブ音響 14	環境について 2
15	／	ライブ音響 15	筆記テスト
16	／	ライブ音響 16	まとめ

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択必須	64	PA業務多数有り

□　授業概要

音の特性を理科し、環境に合わせた音響作りを目指す。

□　授業テーマ

音楽の様に音単体でも成立表とは別に、映像の補助的な役割など、シーンに合わせた対応を知る。

	□　授業項目	□　授業内容
1	ライブ音響 17	各マイクロフォンの特性 1
2	ライブ音響 18	各マイクロフォンの特性 2
3	ライブ音響 19	さまざまな楽器を知る 1
4	ライブ音響 20	さまざまな楽器を知る 2
5	ライブ音響 21	電気信号のフローを確認 1
6	ライブ音響 22	電気信号のフローを確認 2
7	ライブ音響 23	ミキサーの特性 1
8	ライブ音響 24	ミキサーの特性 2
9	ライブ音響 25	アンプを知る 1
10	ライブ音響 26	アンプを知る 2
11	ライブ音響 27	以外の機材の効果と必要性 1
12	ライブ音響 28	以外の機材の効果と必要性 2
13	ライブ音響 29	どこまでだったら一人でできるもん 1
14	ライブ音響 30	どこまでだったら一人でできるもん 2
15	ライブ音響 31	組織としてのライブ音響
16	ライブ音響 32	まとめ

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明基礎			4	ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択必須	64	照明会社

□　授業概要

コンソール（エレメント）基本機能と操作の習得

□　授業テーマ

照明機材の基本的特性を理科する

□　授業項目			**□　授業内容**
1	／	舞台照明 1	ハンガーの脱着と機能の理解まで
2	／	舞台照明 2	レンズspot/凸について
3	／	舞台照明 3	レンズspot/フレネルについて
4	／	舞台照明 4	シールドビーム/PARについて
5	／	舞台照明 5	フラッドライト/ブロードについて
6	／	舞台照明 6	ホール設備とスポットの名称/特徴についての筆記テスト
7	／	舞台照明 7	クール末イベントにむけて
8	／	舞台照明 8	ハンガーの脱着と機能の理解まで
9	／	舞台照明 9	レンズspot/凸について
10	／	舞台照明 10	レンズspot/フレネルについて
11	／	舞台照明 11	シールドビーム/PARについて
12	／	舞台照明 12	フラッドライト/ブロードについて
13	／	舞台照明 13	ホール設備とスポットの名称/特徴についての筆記テスト
14	／	舞台照明 14	クール末イベントにむけて
15	／	舞台照明 15	テスト
16	／	舞台照明 16	振り返り

□　到達目標

照明機材の基本的特性を理科する

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明基礎			4	ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必選選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択必須	64	照明会社

□　授業概要

コンソール（エレメント）基本機能と操作の習得

□　授業テーマ

照明機材の基本的特性を理科する

□　授業項目			□　授業内容
1		舞台照明17	エスペの調光卓～ユニット～回路の理解
2		舞台照明18	ETC ｴﾚﾒﾝﾄの概要の理解
3		舞台照明19	パッチの習得
4		舞台照明20	シーンメモリーの記憶習得
5		舞台照明21	シーンメモリーの記憶と再生習得（簡単な楽曲にあわせて）
6		舞台照明22	調光システムに関する筆記テスト
7		舞台照明23	クール末イベントにむけて
8		舞台照明24	シーンメモリーの修正習得
9		舞台照明25	エフェクトの作成の習得
10		舞台照明26	エフェクトの作成の習得
11		舞台照明27	楽曲でのシーンの作成と実行
12		舞台照明28	楽曲でのシーンの作成と実行
13		舞台照明29	エレメントに関する筆記テスト
14		舞台照明30	クール末イベントにむけて
15		舞台照明31	テスト
16		舞台照明32	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイデアプランニング基礎			4	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択必須	64	AD実務経験有り

□　授業概要

脳の中のヒラメキや深まった考えを文章や図などに視覚化します。
アイディアが具現化できるものかどうかを検証します。

□　授業テーマ

まずは、面白いと感じる実感を捉えます。その実感を共感に変えていくことを実践していきます。

	□　授業項目	**□　授業内容**
1	アイディアプランニング 1	授業の流れと目的を共有します
2	アイディアプランニング 2	身近な「面白い・楽しい」について話す
3	アイディアプランニング 3	その理由を見つける
4	アイディアプランニング 4	テーマに沿ってオリジナル企画を考える
5	アイディアプランニング 5	企画をプレゼンテーションする
6	アイディアプランニング 6	企画を再考する
7	アイディアプランニング 7	
8	アイディアプランニング 8	樹形図を使ったアイデア出し①
9	アイディアプランニング 9	樹形図を使ったアイデア出し②
10	アイディアプランニング 10	樹形図を使ったアイデア出し③
11	アイディアプランニング 11	アイデアを組み合わせる①
12	アイディアプランニング 12	アイデアを組み合わせる②
13	アイディアプランニング 13	条件付きの企画について考える①
14	アイディアプランニング 14	条件付きの企画について考える②
15	アイディアプランニング 15	テスト
16	アイディアプランニング 16	振り返り

□　到達目標

アイディアをまとめる

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイデアプランニング基礎			4	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択必須	64	AD実務経験有り

□　授業概要

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

□　授業テーマ

いいものを作ろうとするとき、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいのか？を探ります。

□　授業項目			□　授業内容
1		ブレインストーミング17	ブレインストーミングを知る
2		ブレインストーミング18	テーマ①についてブレストする
3		ブレインストーミング19	テーマ①のアイデアを整理する
4		ブレインストーミング20	テーマ②についてブレストする
5		ブレインストーミング21	テーマ②のアイデアを整理する
6		ブレインストーミング22	テーマ③についてブレストする
7		ブレインストーミング23	中間まとめ
8		ブレインストーミング24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9		ブレインストーミング25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10		ブレインストーミング26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11		ブレインストーミング27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12		ブレインストーミング28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13		ブレインストーミング29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14		ブレインストーミング30	１年間のまとめ
15		ブレインストーミング31	テスト
16		ブレインストーミング32	振り返り

□　到達目標

他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す

□　評価方法

ブレインストーミングによる総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅠ			2	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	キャリアサポート

□　授業概要

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□　授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□　授業項目			**□　授業内容**
1	／	キャリアプランニング 1	テーマ有無フリートーク
2	／	キャリアプランニング 2	グループディスカッション
3	／	キャリアプランニング 3	グループディスカッション
4	／	キャリアプランニング 4	自己紹介／他己紹介
5	／	キャリアプランニング 5	自己分析
6	／	キャリアプランニング 6	自己分析、自己PR作成
7	／	キャリアプランニング 7	自己PRプレゼン
8	／	キャリアプランニング 8	フリートーク強化
9	／	キャリアプランニング 9	グループディスカッション
10	／	キャリアプランニング 10	グループディスカッション
11	／	キャリアプランニング 11	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	キャリアプランニング 12	企業研究
13	／	キャリアプランニング 13	企業研究、業界分析
14	／	キャリアプランニング 14	企業研究、業界分析
15	／	キャリアプランニング 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	キャリアプランニング 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

就活スキルの向上。

□　評価方法

授業への取り組み方

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	キャリアプランニングⅡ			2	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	キャリアサポート

□　授業概要

就職活動で必要となる知識・スキルの習得。

□　授業テーマ

就活に向けた社会人基礎力鍛錬／コミュニケーション能力の習得

□　授業項目			□　授業内容
1	／	キャリアプランニング 17	ビジネスマナー実習
2	／	キャリアプランニング 18	ビジネスマナー実習
3	／	キャリアプランニング 19	履歴書作成
4	／	キャリアプランニング 20	履歴書作成
5	／	キャリアプランニング 21	履歴書作成
6	／	キャリアプランニング 22	作品プレゼン、自己プレゼン練習
7	／	キャリアプランニング 23	作品プレゼン、自己プレゼン練習
8	／	キャリアプランニング 24	業界、企業分析
9	／	キャリアプランニング 25	業界、企業分析
10	／	キャリアプランニング 26	志望動機、自己PRブラッシュアップ
11	／	キャリアプランニング 27	構図とサイズ・アングルから映像にアプローチする(撮影・編集)
12	／	キャリアプランニング 28	グループディスカッション
13	／	キャリアプランニング 29	グループディスカッション
14	／	キャリアプランニング 30	プレゼンテーション
15	／	キャリアプランニング 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	キャリアプランニング 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

就職活動スキルの向上。

□　評価方法

授業への取り組み方

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ビジネスマナー			4	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

今後社会人となる上で必要な、電話やメール等でのビジネススキルを養う

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1	／	ビジネスマナー1	授業内容説明と専攻ならではのルールや学校のルールの確認
2	／	ビジネスマナー2	夏活動に向けて履歴書を作成。これまでの経歴や取得した免許や資格の整理と特技や趣味などの書き方を説明
3	／	ビジネスマナー3	志望動機と自己PRの違いの説明と自己分析から自己PR、志望動機の作成
4	／	ビジネスマナー4	自己PR、志望動機の作成と添削作業
5	／	ビジネスマナー5	夏活動期間に向けて履歴書を完成確認と企業の探し方/企業にむけての志望動機とは
6	／	ビジネスマナー6	面接についての注意点やポイントを理解
7	／	ビジネスマナー7	社会人のルールやマナー/自分の目指す企業のマッチング
8	／	ビジネスマナー8	社会人のルールやマナー/自分の目指す企業のマッチング
9	／	ビジネスマナー9	模擬面接を実施/企業研究
10	／	ビジネスマナー10	模擬面接を実施/企業研究
11	／	ビジネスマナー11	模擬面接を実施/企業研究
12	／	ビジネスマナー12	面接振り返りとTRIANGLE研修について、夏活動の目標設定
13	／	ビジネスマナー13	学内で開催してきたイベントを通して業界での社会人マナーを身につける
14	／	ビジネスマナー14	学内で開催してきたイベントを通して業界での社会人マナーを身につける
15	／	ビジネスマナー15	テスト実施
16	／	ビジネスマナー16	振り返り、まとめ

□　到達目標

提出物、授業態度、出席率。履歴書の完成

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ベクターワークス			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA企業経営

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目			□　授業内容
1		ベクターワークス 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2		ベクターワークス 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3		ベクターワークス 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4		ベクターワークス 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5		ベクターワークス 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6		ベクターワークス 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7		ベクターワークス 7	★テスト：基本操作、図面についてのペーパーテスト
8		ベクターワークス 8	機材在庫管理と整理整頓
9		ベクターワークス 9	ケーブルメンテナンス
10		ベクターワークス 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11		ベクターワークス 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12		ベクターワークス 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13		ベクターワークス 13	結婚式の式次第に沿った実習
14		ベクターワークス 14	イラストレーターでの図面編集①（イラストレーターの基本操作）
15		ベクターワークス 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		ベクターワークス 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	プランナー実績多数

□　授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□　授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

	□　授業項目	□　授業内容
1	イベント制作 1	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	イベント制作 2	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	イベント制作 3	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	イベント制作 4	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	イベント制作 5	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	イベント制作 6	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	イベント制作 7	途中振り返り
8	イベント制作 8	到達テーマの企画制作　イベントの実施
9	イベント制作 9	到達テーマの企画制作　イベントの実施
10	イベント制作 10	到達テーマの企画制作　イベントの実施
11	イベント制作 11	到達テーマの企画制作　イベントの実施
12	イベント制作 12	到達テーマの企画制作　イベントの実施
13	イベント制作 13	到達テーマの企画制作　イベントの実施
14	イベント制作 14	試験　実施における実績と収支にて評価
15	イベント制作 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	イベント制作 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントの実践総合評価

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	プランナー実績多数

□　授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□　授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

	□　授業項目	□　授業内容
1	イベント制作 17	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2	イベント制作 18	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3	イベント制作 19	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4	イベント制作 20	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5	イベント制作 21	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6	イベント制作 22	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7	イベント制作 23	途中振り返り
8	イベント制作 24	到達テーマの企画制作　イベントの実施
9	イベント制作 25	到達テーマの企画制作　イベントの実施
10	イベント制作 26	到達テーマの企画制作　イベントの実施
11	イベント制作 27	到達テーマの企画制作　イベントの実施
12	イベント制作 28	到達テーマの企画制作　イベントの実施
13	イベント制作 29	到達テーマの企画制作　イベントの実施
14	イベント制作 30	試験　実施における実績と収支にて評価
15	イベント制作 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	イベント制作 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントの実践総合評価

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベント制作実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	プランナー実績多数

□　授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□　授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□　授業項目			□　授業内容
1		イベント制作 33	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2		イベント制作 34	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3		イベント制作 35	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4		イベント制作 36	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5		イベント制作 37	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6		イベント制作 38	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7		イベント制作 39	途中振り返り
8		イベント制作 40	到達テーマの企画制作　イベントの実施
9		イベント制作 41	到達テーマの企画制作　イベントの実施
10		イベント制作 42	到達テーマの企画制作　イベントの実施
11		イベント制作 43	到達テーマの企画制作　イベントの実施
12		イベント制作 44	到達テーマの企画制作　イベントの実施
13		イベント制作 45	到達テーマの企画制作　イベントの実施
14		イベント制作 46	試験　実施における実績と収支にて評価
15		イベント制作 47	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		イベント制作 48	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントの実践総合評価

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	AD勤務経験有

□　授業概要

□　授業テーマ

□　授業項目			□　授業内容
1		ホームルーム Ⅱ-1	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2		ホームルーム Ⅱ-2	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3		ホームルーム Ⅱ-3	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4		ホームルーム Ⅱ-4	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5		ホームルーム Ⅱ-5	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6		ホームルーム Ⅱ-6	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7		ホームルーム Ⅱ-7	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8		ホームルーム Ⅱ-8	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9		ホームルーム Ⅱ-9	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10		ホームルーム Ⅱ-10	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11		ホームルーム Ⅱ-11	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12		ホームルーム Ⅱ-12	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13		ホームルーム Ⅱ-13	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14		ホームルーム Ⅱ-14	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15		ホームルーム Ⅱ-15	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16		ホームルーム Ⅱ-16	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ホームルームⅡ			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	AD勤務経験有

□　授業概要

個別面談を通して、卒業後のビジョンを明確にし、就活の次の一手の準備と実行。

□　授業テーマ

個別のキャリアプラン

□　授業項目			□　授業内容
1		ホームルーム Ⅱ-17	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
2		ホームルーム Ⅱ-18	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
3		ホームルーム Ⅱ-19	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
4		ホームルーム Ⅱ-20	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
5		ホームルーム Ⅱ-21	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
6		ホームルーム Ⅱ-22	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
7		ホームルーム Ⅱ-23	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
8		ホームルーム Ⅱ-24	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
9		ホームルーム Ⅱ-25	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
10		ホームルーム Ⅱ-26	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
11		ホームルーム Ⅱ-27	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
12		ホームルーム Ⅱ-28	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
13		ホームルーム Ⅱ-29	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
14		ホームルーム Ⅱ-30	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
15		ホームルーム Ⅱ-31	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題
16		ホームルーム Ⅱ-32	課題：企業研究/企業ピックアップ/エントリー/履歴書/面接/内定後の課題

□　到達目標

□　評価方法

課題制作、提出物での評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング 基礎			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□　授業テーマ

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□　授業項目			□　授業内容
1	／	ITBミキシング 基礎 1	オリエンテーション
2	／	ITBミキシング 基礎 2	プロツールズのインストール
3	／	ITBミキシング 基礎 3	プロツールズの原理
4	／	ITBミキシング 基礎 4	能動的に聴くことの考察・アプローチ
5	／	ITBミキシング 基礎 5	モニタースピーカー、ヘッドフォン、モニター環境
6	／	ITBミキシング 基礎 6	ルームアコースティック
7	／	ITBミキシング 基礎 7	シグナル経路
8	／	ITBミキシング 基礎 8	マイクの基本
9	／	ITBミキシング 基礎 9	オリエンテーション
10	／	ITBミキシング 基礎 10	ミキサーの動作原理
11	／	ITBミキシング 基礎 11	ゲインステージの物理的理解
12	／	ITBミキシング 基礎 12	イコライザー動作原理と応用
13	／	ITBミキシング 基礎 13	コンプレッサーの動作原理と実践
14	／	ITBミキシング 基礎 14	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15	／	ITBミキシング 基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	ITBミキシング 基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング 基礎			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□　授業テーマ

レコーディングエンジニアに求められる知識、技術を網羅する。ITBミックスの手法を学ぶ

□　授業項目			□　授業内容
1		ITBミキシング 基礎 17	オリエンテーション
2		ITBミキシング 基礎 18	楽器の構造、弦楽器
3		ITBミキシング 基礎 19	楽器の構造、管楽器
4		ITBミキシング 基礎 20	録音手法
5		ITBミキシング 基礎 21	リズム楽器へのアプローチ、グルーブのコントロール
6		ITBミキシング 基礎 22	アコースティック・生楽器・エレクトリック楽器の処理
7		ITBミキシング 基礎 23	楽曲への音楽的なアプローチとクリエイティビティ
8		ITBミキシング 基礎 24	楽器の録音と、録音時のプロセッサーの使い方
9		ITBミキシング 基礎 25	オリエンテーション
10		ITBミキシング 基礎 26	PCMとDSD、記録方式による音質の差異
11		ITBミキシング 基礎 27	演算によるサンプルレートの変換、データ圧縮 、Dither技術
12		ITBミキシング 基礎 28	ハイレゾルーションマスタリングのアプローチ
13		ITBミキシング 基礎 29	MS(Sum and Difference)プロセッシングの原理と実践
14		ITBミキシング 基礎 30	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15		ITBミキシング 基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		ITBミキシング 基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

レコーディングエンジニアに求められる知識、技

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク 基礎			8	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア

□　授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業項目　　□　授業内容

1		スタジオワーク基礎 1	オリエンテーション
2		スタジオワーク基礎 2	スタジオの仕組み
3		スタジオワーク基礎 3	ミキサーの仕組み
4		スタジオワーク基礎 4	マイク・機材の紹介
5		スタジオワーク基礎 5	Protoolsとミキサーの説明
6		スタジオワーク基礎 6	歌レコーディング
7		スタジオワーク基礎 7	ドラムレコーディング
8		スタジオワーク基礎 8	マイキングによる音の変化の解説
9		スタジオワーク基礎 9	オリエンテーション
10		スタジオワーク基礎 10	Cueboxを用いるモニター環境
11		スタジオワーク基礎 11	ギターレコーディング
12		スタジオワーク基礎 12	ベースレコーディング
13		スタジオワーク基礎 13	EQの説明
14		スタジオワーク基礎 14	コンプレッサーの説明
15		スタジオワーク基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		スタジオワーク基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

プロスタジオのワークフローの理解

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク 基礎			8	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア

□　授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業項目			□　授業内容
1		スタジオワーク基礎 17	オリエンテーション
2		スタジオワーク基礎 18	シグナルフローを理解する(1)
3		スタジオワーク基礎 19	シグナルフローを理解する(2)
4		スタジオワーク基礎 20	マイクの指向特性・周波数特性を理解する
5		スタジオワーク基礎 21	ステレオマイキング
6		スタジオワーク基礎 22	リバーブ
7		スタジオワーク基礎 23	リアンプなどを用いた手法
8		スタジオワーク基礎 24	ミキシング解説基礎(1)
9		スタジオワーク基礎 25	オリエンテーション
10		スタジオワーク基礎 26	ピアノレコーディンング
11		スタジオワーク基礎 27	弦管楽器のレコーディング
12		スタジオワーク基礎 28	MA（マルチオーディオ）についての説明
13		スタジオワーク基礎 29	アフレコ、ボイスオーバー
14		スタジオワーク基礎 30	キーボード等MIDIを用いたレコーディング
15		スタジオワーク基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		スタジオワーク基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

プロスタジオのワークフローの理解

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション 基礎			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業項目			□　授業内容
1	／	PTオペレーション基礎 1	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション基礎 2	Native/DSPプラグイン
3	／	PTオペレーション基礎 3	ロクロス等フェードの応用
4	／	PTオペレーション基礎 4	ビートディテクティブ
5	／	PTオペレーション基礎 5	AudioSuite
6	／	PTオペレーション基礎 6	ダブリングなどの手法を用いた録音方法
7	／	PTオペレーション基礎 7	ボーカルエディット①(修正ソフトを用いない
8	／	PTオペレーション基礎 8	ボーカルエディット②(修正ソフトを使用
9	／	PTオペレーション基礎 9	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション基礎 10	クリップ情報について解説
11	／	PTオペレーション基礎 11	ステムトラックの作成方法
12	／	PTオペレーション基礎 12	変拍子のセッションの作成
13	／	PTオペレーション基礎 13	イン/エクスポート・バウンス
14	／	PTオペレーション基礎 14	グループ化の実用例
15	／	PTオペレーション基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーシ

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション 基礎			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業テーマ

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーションをプロスタジオワークに沿って習得

□　授業項目			□　授業内容
1	／	PTオペレーション基礎 17	オリエンテーション
2	／	PTオペレーション基礎 18	タブを用いた編集
3	／	PTオペレーション基礎 19	メーターの種類
4	／	PTオペレーション基礎 20	エラスティックオーディオ
5	／	PTオペレーション基礎 21	サイドチェイン
6	／	PTオペレーション基礎 22	トラブルシューティング
7	／	PTオペレーション基礎 23	テイク管理・セレクト
8	／	PTオペレーション基礎 24	テイク管理・セレクト
9	／	PTオペレーション基礎 25	オリエンテーション
10	／	PTオペレーション基礎 26	オペレーション実習、制作作業
11	／	PTオペレーション基礎 27	オペレーション実習、制作作業
12	／	PTオペレーション基礎 28	オペレーション実習、制作作業
13	／	PTオペレーション基礎 29	オペレーション実習、制作作業
14	／	PTオペレーション基礎 30	オペレーション実習、制作作業
15	／	PTオペレーション基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PTオペレーション基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

世界標準のDAWであるPRO TOOLSのオペレーシ

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート基礎			8	立川　眞佐人、永田　健志、尾池　善充、吉永　匡、藤本　喝起、佐藤　五魚
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	ミュージシャン

□　授業概要

学内コンサートホールを使っての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		アンサブルオペレート基礎 1	オリエンテーション
2		アンサブルオペレート基礎 2	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3		アンサブルオペレート基礎 3	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4		アンサブルオペレート基礎 4	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5		アンサブルオペレート基礎 5	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2)、ライブ音響・レコーディング実習
6		アンサブルオペレート基礎 6	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7		アンサブルオペレート基礎 7	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8		アンサブルオペレート基礎 8	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9		アンサブルオペレート基礎 9	オリエンテーション
10		アンサブルオペレート基礎 10	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11		アンサブルオペレート基礎 11	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12		アンサブルオペレート基礎 12	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13		アンサブルオペレート基礎 13	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14		アンサブルオペレート基礎 14	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15		アンサブルオペレート基礎 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		アンサブルオペレート基礎 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート基礎			8	立川　眞佐人、永田　健志、尾池　善充、吉永　匡、藤本　鳴起、佐藤　五魚
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	ミュージシャン

□　授業概要

学内コンサートホールを使っての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□　授業テーマ

前期で学んだことの繰り返しの実践になるが、前期との違いに気づくことと、その気付きをシェアすること

□　授業項目			□　授業内容
1		アンサンブルオペレート基礎 17	オリエンテーション
2		アンサンブルオペレート基礎 18	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3		アンサンブルオペレート基礎 19	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4		アンサンブルオペレート基礎 20	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5		アンサンブルオペレート基礎 21	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2)、ライブ音響・レコーディング実習
6		アンサンブルオペレート基礎 22	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7		アンサンブルオペレート基礎 23	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8		アンサンブルオペレート基礎 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9		アンサンブルオペレート基礎 25	オリエンテーション
10		アンサンブルオペレート基礎 26	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11		アンサンブルオペレート基礎 27	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12		アンサンブルオペレート基礎 28	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13		アンサンブルオペレート基礎 29	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14		アンサンブルオペレート基礎 30	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15		アンサンブルオペレート基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		アンサンブルオペレート基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	音楽知識 基礎			4	永田　健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	理論	選択	64	作曲家・ギタリスト

□　授業概要

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□　授業テーマ

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□　授業項目			□　授業内容
1	／	音楽知識 基礎 1	オリエンテーション
2	／	音楽知識 基礎 2	リズム研究、ドラム研究
3	／	音楽知識 基礎 3	マイケルジャクソン研究
4	／	音楽知識 基礎 4	ギター研究
5	／	音楽知識 基礎 5	ベース研究
6	／	音楽知識 基礎 6	ビートルズ研究その1
7	／	音楽知識 基礎 7	ビートルズ研究その2
8	／	音楽知識 基礎 8	音源制作の流れ、仕事の役割の理解
9	／	音楽知識 基礎 9	オリエンテーション
10	／	音楽知識 基礎 10	音楽映画研究
11	／	音楽知識 基礎 11	イギリスのロック研究
12	／	音楽知識 基礎 12	アメリカのロック研究
13	／	音楽知識 基礎 13	日本のロック研究
14	／	音楽知識 基礎 14	ダンスミュージックその1（アメリカ）
15	／	音楽知識 基礎 15	ダンスミュージックその2（イギリス）
16	／	音楽知識 基礎 16	グループ討論

□　到達目標

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	音楽知識 基礎			4	永田　健志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	理論	選択	64	作曲家・ギタリスト

□　授業概要

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□　授業テーマ

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。音楽のプロとしての視点、知識ををすることにつなげていく

□　授業項目　　□　授業内容

1		音楽知識 基礎 17	オリエンテーション
2		音楽知識 基礎 18	音楽映画研究その2
3		音楽知識 基礎 19	音楽と映像1
4		音楽知識 基礎 20	音楽と映像2
5		音楽知識 基礎 21	レゲエ、スカ、ジャマイカの音楽
6		音楽知識 基礎 22	ブラジルの音楽
7		音楽知識 基礎 23	フランスの音楽
8		音楽知識 基礎 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション
9		音楽知識 基礎 25	オリエンテーション
10		音楽知識 基礎 26	進化するジャズ
11		音楽知識 基礎 27	クラブミュージック
12		音楽知識 基礎 28	ブルース研究、簡単なブルースセッション
13		音楽知識 基礎 29	モータウンレコード、スタックスレーベル
14		音楽知識 基礎 30	細野晴臣研究
15		音楽知識 基礎 31	音楽映画研究
16		音楽知識 基礎 32	著作権

□　到達目標

音楽、楽器の見知を拡げるための情報をインプットする。

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク基礎			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA実務業務有り

□　授業概要

PAの目的と可能性を初歩的なスキルから学ぶ。簡単なPAシステムを立ち上げる

□　授業テーマ

学内にある機材で簡単なPAシステムを組み立てる。

□　授業項目			□　授業内容
1		PAスタッフワーク基礎 1	PAとは？
2		PAスタッフワーク基礎 2	PAに関わる機材
3		PAスタッフワーク基礎 3	音声信号のフロー❶
4		PAスタッフワーク基礎 4	音声信号のフロー❷
5		PAスタッフワーク基礎 5	各機材の役割
6		PAスタッフワーク基礎 6	学内にあるPA義材を全て把握しよう(1)
7		PAスタッフワーク基礎 7	学内にあるPA義材を全て把握しよう(2)
8		PAスタッフワーク基礎 8	学内にあるPA義材を全て把握しよう(3)
9		PAスタッフワーク基礎 9	学内にあるPA義材を全て把握しよう(4)
10		PAスタッフワーク基礎 10	簡単なシステムを立ち上げよう！❶
11		PAスタッフワーク基礎 11	簡単なシステムを立ち上げよう！❷
12		PAスタッフワーク基礎 12	簡単なシステムを立ち上げよう！❸
13		PAスタッフワーク基礎 13	簡単なシステムを立ち上げよう！❹
14		PAスタッフワーク基礎 14	機材名称試験
15		PAスタッフワーク基礎 15	振り返り
16		PAスタッフワーク基礎 16	音響機材でできること！

□　到達目標

一人で簡単なPAシステムを立ち上げる。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク基礎			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA実務業務有り

□　授業概要

学内にある全ての機材の名称と特性を把握し、一人で立ち上げるまでをマスターする。

□　授業テーマ

一人でシステムを立ち上げたら、あとは時間を早くする。

		授業項目	授業内容
1		PAスタッフワーク基礎 17	オリエンテーション
2		PAスタッフワーク基礎 18	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう❶
3		PAスタッフワーク基礎 19	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう❶
4		PAスタッフワーク基礎 20	8chミキサーとスタンドスピーカーのシステムを立ち上げよう❶
5		PAスタッフワーク基礎 21	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう①
6		PAスタッフワーク基礎 22	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう②
7		PAスタッフワーク基礎 23	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう③
8		PAスタッフワーク基礎 24	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう④
9		PAスタッフワーク基礎 25	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう⑤
10		PAスタッフワーク基礎 26	学内ホールのPAシステムを立ち上げよう⑥
11		PAスタッフワーク基礎 27	学内機材でできること(1)
12		PAスタッフワーク基礎 28	学内機材でできること(2)
13		PAスタッフワーク基礎 29	学内機材でできること(3)
14		PAスタッフワーク基礎 30	実技試験
15		PAスタッフワーク基礎 31	振り返り
16		PAスタッフワーク基礎 32	振り返り

□　到達目標

学内最大級のPA卓をコントロールしよう！

□　評価方法

実技試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識基礎			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

舞台における基本的な知識、特に名称の獲得します。また、舞台機構調整技能試験 受験に向けて知識を得ます。

□　授業テーマ

実際の演習につながる理論として運営。

	□　授業項目	**□　授業内容**
1	舞台知識 基礎 1	ガイダンス
2	舞台知識 基礎 2	舞台の定義（演劇の始まり）
3	舞台知識 基礎 3	舞台の歴史(1) 古代ギリシアからローマ
4	舞台知識 基礎 4	舞台の歴史(2) シェイクスピアの時代
5	舞台知識 基礎 5	舞台の歴史(3) 日本の古典演劇
6	舞台知識 基礎 6	ミューカル・オペラについて(1)
7	舞台知識 基礎 7	ミューカル・オペラについて(2)
8	舞台知識 基礎 8	世界の劇場
9	舞台知識 基礎 9	日本の劇場
10	舞台知識 基礎 10	劇場内の構造と名称
11	舞台知識 基礎 11	劇場内の目的
12	舞台知識 基礎 12	日本のサイズについて
13	舞台知識 基礎 13	まとめ
14	舞台知識 基礎 14	筆記試験
15	舞台知識 基礎 15	学内のホールはどうだろ？(1)
16	舞台知識 基礎 16	学内のホールはどうだろ？(2)

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識基礎			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

舞台における基本的な知識、特に名称の獲得します。また、舞台機構調整技能試験 受験に向けて知識を得ます。

□　授業テーマ

実際の演習につながる理論として運営。

		□　授業項目	□　授業内容
1		舞台知識基礎 17	電気に関する基礎的な確認
2		舞台知識基礎 18	舞台機構と設備について
3		舞台知識基礎 19	照明設備について
4		舞台知識基礎 20	音響設備について
5		舞台知識基礎 21	映像設備について
6		舞台知識基礎 22	検定テスト
7		舞台知識基礎 23	検定テスト予備日（第１クールの復習と今後の課題について）
8		舞台知識基礎 24	劇場の歴史と機能
9		舞台知識基礎 25	上演へのプロセス
10		舞台知識基礎 26	公演における安全管理
11		舞台知識基礎 27	安全作業と演出技術
12		舞台知識基礎 28	設備運用と基本操作
13		舞台知識基礎 29	検定テスト
14		舞台知識基礎 30	検定テスト予備日（第２クールの復習と今後の課題について）
15		舞台知識基礎 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		舞台知識基礎 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	電気概論基礎			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必選選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	理論	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

音響機材を扱うで避けて通れない電気概論の知識を学びます。

□　授業テーマ

義務教育で学んだ学んだ異本的な知識を振り返りながら、音響機材を操作する上で最初の土台として
の電気概論を習得します。

□　授業項目			□　授業内容
1		電気概論 基礎 1	オリエンテーション
2		電気概論 基礎 2	直流回路の電圧＆電流＆抵抗
3		電気概論 基礎 3	電気抵抗について
4		電気概論 基礎 4	抵抗の直列接続（オームの法則）
5		電気概論 基礎 5	抵抗の並列接続および直並列接続
6		電気概論 基礎 6	ブリッジ回路とキルヒホッフの法則
7		電気概論 基礎 7	電流による発熱作用、電力と電力量
8		電気概論 基礎 8	電気の作用
9		電気概論 基礎 9	電流の化学作用
10		電気概論 基礎 10	磁気に関するクーロンの法則、磁界と磁力線
11		電気概論 基礎 11	磁束と磁束密度、磁気誘導
12		電気概論 基礎 12	電流による磁界、アンペアの右ネジの法則
13		電気概論 基礎 13	磁気回路
14		電気概論 基礎 14	電磁力、直流電動機の原理
15		電気概論 基礎 15	筆記テスト
16		電気概論 基礎 16	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	電気概論基礎			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	理論	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

音響機材を扱うで避けて通れない電気概論の知識を学びます。

□　授業テーマ

義務教育で学んだ学んだ異本的な知識を振り返りながら、音響機材を操作する上で最初の土台として
の電気概論を習得します。

□　授業項目			□　授業内容
1		電気概論 基礎17	電磁誘導、レンツの法則、フレミングの右手の法則、発電機の原理
2		電気概論 基礎18	自己誘導と相互誘導
3		電気概論 基礎19	静電気の基礎とクーロンの法則
4		電気概論 基礎20	静電誘導、静電容量とコンデンサ
5		電気概論 基礎21	コンデンサの接続
6		電気概論 基礎22	交流波形
7		電気概論 基礎23	交流のベクトル表示
8		電気概論 基礎24	交流の基礎：抵抗、インダクタンスだけの回路
9		電気概論 基礎25	静電容量だけの回路、Ｒ－Ｌ直列回路他
10		電気概論 基礎26	ＲＬＣ直列回路と直列共振回路
11		電気概論 基礎27	ＲＬＣ並列回路と並列共振回路
12		電気概論 基礎28	交流回路の電力、三相交流発生の原理
13		電気概論 基礎29	三相交流の結線法、三相交流電力
14		電気概論 基礎30	予備日
15		電気概論 基礎31	筆記テスト
16		電気概論 基礎32	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	検定対策			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA会社経営

□　授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

□　授業テーマ

検定合格が１つのモティベーションとして導きます。

□　授業項目			□　授業内容
1		国家資格検定対策１	音響検定の説明
2		国家資格検定対策２	検定対策
3		国家資格検定対策３	検定対策
4		国家資格検定対策４	検定対策
5		国家資格検定対策５	検定対策
6		国家資格検定対策６	小テスト
7		国家資格検定対策７	検定対策
8		国家資格検定対策８	検定対策
9		国家資格検定対策９	検定対策
10		国家資格検定対策１０	検定対策
11		国家資格検定対策１１	小テスト
12		国家資格検定対策１２	検定対策
13		国家資格検定対策１３	検定対策
14		国家資格検定対策１４	検定対策
15		国家資格検定対策１５	検定対策
16		国家資格検定対策１６	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	機器概論			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA企業経営

□　授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

□　授業テーマ

検定合格が１つのモティベーションとして導きます。

□　授業項目			□　授業内容
1		国家資格検定対策１	授業の目的と流れを解説
2		機材把握8	既存機器の種類
3		機材把握9	既存機器の特徴
4		機材把握10	既存機器の活用方法
5		機材把握11	仕込み図作成
6		機材把握12	実践に向けて
7		筆記試験	理解確認
8		仕込み7	オペレートとは？
9		仕込み8	現場をイメージする。
10		仕込み9	実際現場起きる障壁について
11		仕込み10	その対処方法
12		仕込み11	仕込み図作成
13		仕込み12	効率的なオペレートについて
14		実施試験	
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習Ⅰ			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	32	AD実務経験有

□　授業概要

就活にて有効となるポートフォリオの複数完成を目指す

□　授業テーマ

作品の内容・技術力

	□　授業項目	□　授業内容
1	制作演習 I-1	目的の確認 作品制作工程について
2	制作演習 I-2	制作プランニング プレゼン・ディベート
3	制作演習 I-3	作品制作進行1
4	制作演習 I-4	作品制作進行2
5	制作演習 I-5	作品制作進行3
6	制作演習 I-6	制作進行状況まとめ
7	制作演習 I-7	中間確認:プレゼン・ディベート
8	制作演習 I-8	作品制作進行4
9	制作演習 I-9	作品制作進行5
10	制作演習 I-10	プレゼン作品まとめ
11	制作演習 I-11	作品制作進行6
12	制作演習 I-12	作品制作進行7
13	制作演習 I-13	作品制作進行8
14	制作演習 I-14	作品制作進行8
15	制作演習 I-15	ポートフォリオまとめ
16	制作演習 I-16	単位認定:プレゼン・ディベート

□　到達目標

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	制作演習II			2	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	32	AD実務経験有

□　授業概要

就活にて有効となるポートフォリオの複数完成を目指す

□　授業テーマ

作品の内容・技術力

	□　授業項目	□　授業内容
1	制作演習 II-1	個人制作プランニング
2	制作演習 II-2	制作プランニング ブラッシュアップ
3	制作演習 II-3	作品制作進行1
4	制作演習 II-4	作品制作進行2
5	制作演習 II-5	制作進行報告プレゼンシート作成
6	制作演習 II-6	中間確認プレゼン・デイベートからのブラッシュアップ
7	制作演習 II-7	作品制作進行3
8	制作演習 II-8	作品制作進行4
9	制作演習 II-9	作品制作進行5
10	制作演習 II-10	プレゼンテーション作成
11	制作演習 II-11	作品制作進行6
12	制作演習 II-12	作品制作進行7
13	制作演習 II-13	作品制作進行8
14	制作演習 II-14	ポートフォリオ・プレゼン準備
15	制作演習 II-15	プレゼン・デイベートからの作品ブラッシュアップ
16	制作演習 II-16	単位認定:作品チェック

□　到達目標

□　評価方法

課題提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA基礎			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA会社運営

□　授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

□　授業テーマ

検定合格が１つのモティベーションとして導きます。

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		国家資格検定対策１	授業の目的と流れを解説
2		機器概論１	既存機器の種類
3		機器概論２	既存機器の特徴
4		機器概論３	既存機器の活用方法
5		機器概論４	仕込み図作成
6		機器概論５	実践に向けて
7		小テスト	理解確認
8		オペレート１	オペレートとは？
9		オペレート２	現場をイメージする。
10		オペレート３	実際現場起きる障壁について
11		オペレート４	その対処方法
12		オペレート５	仕込み図作成
13		オペレート６	効率的なオペレートについて
14		実施試験	
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	TV照明			4	藤屋　登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	TV照明会社勤務経験有り

□　授業概要

テレビ映像照明の基礎・業界一般知識
光の成分知識・実演を入れながら照明機材の使い方を習得

□　授業テーマ

		□　授業項目	□　授業内容
1		TV照明業界概論	会社紹介・業界について・照明の仕事　概要を解説
2		映像照明知識１	音楽番組ついて　音楽番組作品鑑賞～解説
3		映像照明知識２	ドラマ・映画について　作品鑑賞～解説
4		映像照明知識３	情報バラエティ、中継、ロケについて　作品鑑賞～解説
5		映像照明知識４	テレビカメラ・一眼レフカメラの仕組み　被写界深度
6		１灯照明実践からの学ぶ表現法１	ライトの方向性①　レンブラントライトなど
7		１灯照明実践からの学ぶ表現法２	ライトの方向性②
8		１灯照明実践からの学ぶ表現法３	光の成分①　照度・色温度・演色性
9		１灯照明実践からの学ぶ表現法４	光の成分②　～①復習　カメラを通した映像の解説
10		１灯照明実践からの学ぶ表現法５	光の成分③　応用編　時間帯、季節感を出した実例
11		１灯照明実践からの学ぶ表現法６	光の成分④　応用編　点光源と面光源を使った実例
12		１灯照明実践からの学ぶ表現法７	光の成分⑤　総集編　光の方向・成分　テクニック篇！
13		実践テスト	光の成分⑥　テーマに基づきグループ実習①
14		実践テスト	光の成分⑦　テーマに基づきグループ実習②～総解説
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	TV照明			4	藤屋　登
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	TV照明会社勤務経験有り

□　授業概要

電気知識、スタジオ概要の習得、作品実習（コマーシャル）
音楽番組を通じて、照明のプラン　色の使い方

□　授業テーマ

検定合格が１つのモティベーションとして導きます。

	□　授業項目		**□　授業内容**
1	／	簡易照明機材から学ぶ照明概念	低電圧講習　現場で生かせる電気知識
2	／	ロケーションによる照明演出の違い１	テレビスタジオ・劇場　機構解説　～違い
3	／	ロケーションによる照明演出の違い２	テレビ局スタジオ見学　～プロ現場の話
4	／	ロケーションによる照明演出の違い３	コマーシャル撮影にチャレンジ①　絵コンテの書き方
5	／	ロケーションによる照明演出の違い４	コマーシャル撮影にチャレンジ②　絵コンテ制作
6	／	ロケーションによる照明演出の違い５	コマーシャル撮影にチャレンジ③　作品実習
7	／	ロケーションによる照明演出の違い６	コマーシャル撮影にチャレンジ④　作品実習
8	／	実践テスト	音楽番組にチャレンジ　例題作品鑑賞　照明プラン
9	／	課題実践学習１	照明プラン　～4グループ作品選定
10	／	課題実践学習２	作品実習①　カメラ収録
11	／	課題実践学習３	作品実習②　カメラ収録
12	／	課題実践学習４	作品実習③　カメラ収録
13	／	課題実践学習５	作品実習④　カメラ収録
14	／	品評テスト実施	作品評価　試写会　年間振返り・・・
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マネジメント基礎			4	浅川　三四郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必選選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	プロデューサ業務実績有り

□　授業概要

実際の存在するアーティストをプロデュースを実践します。
写真学科への撮影依頼、楽曲の拡散を狙います。

□　授業テーマ

在校生アーティストをモデルに実践します。

	授業項目	授業内容
1	マネージメント概論①	マネージメントと概論と基礎知識
2	マネージメント概論②	マネージメントと概論と基礎知識
3	マネージメント概論③	マネージメントと概論と基礎知識
4	マネージメント概論④	マネージメントと概論と基礎知識
5	マネージメント概論⑤	マネージメントと概論と基礎知識
6	マネージメント概論⑥	マネージメントと概論と基礎知識
7	筆記試験	
8	プロモーション①	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
9	プロモーション②	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
10	プロモーション③	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
11	プロモーション④	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
12	プロモーション⑤	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
13	プロモーション⑥	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
14	筆記試験	
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マネジメント基礎			4	浅川　三四郎
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	プロデューサ業務実績有り

□　授業概要

座学を通して、マネージメントとプロモーションスキルを身につけます。

□　授業テーマ

権利や著作権を理解しマネージメントスキルの基礎を身につけ、宣伝の方法を学ぶ。

□　授業項目			□　授業内容
1		実践1	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
2		実践2	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
3		実践3	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
4		実践4	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
5		実践5	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
6		実践6	プロデュースとプロモーション　概論　考え方
7		実践7	
8		実践8	プロデュースプランニング　コンセプト構築
9		実践9	プロデュースプランニング　コンセプト構築
10		実践10	プロデュースプランニング　コンセプト構築
11		実践11	プロデュースプランニング　コンセプト構築
12		実践12	プロデュースプランニング　コンセプト構築
13		実践13	プロデュースプランニング　コンセプト構築
14		実践14	評価ポイント　アーティスト写真　撮影　提出
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

課題提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	イベント制作会社／ホール管理会社

□　授業概要

劇場に関する知識、安全作業と催事運用に関する知識、業種の壁を越えた幅広い知識の習得

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		舞台知識１	さまざまな舞台
2		舞台知識２	舞台機構と設備について
3		舞台知識３	照明設備について
4		舞台知識４	音響設備について
5		舞台知識５	映像設備について
6		筆記試験	検定テスト
7		オリエンテーション	検定テスト予備日（第１クールの復習と今後の課題について）
8		舞台知識６	劇場の歴史と機能
9		舞台知識７	上演へのプロセス
10		舞台知識８	公演における安全管理
11		舞台知識９	安全作業と演出技術
12		舞台知識10	設備運用と基本操作
13		筆記試験	検定テスト
14		まとめ	検定テスト予備日（第２クールの復習と今後の課題について）
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台知識			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	イベント制作会社／ホール管理会社

□　授業概要

劇場に関する知識、安全作業と催事運用に関する知識、業種の壁を越えた幅広い知識の習得

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1	／	高校までの電気知識のおさらい・実用知識への変換	電気に関する基礎的な確認
2	／	イベントホール解説１	舞台機構と設備について
3	／	イベントホール解説２	照明設備について
4	／	イベントホール解説３	音響設備について
5	／	イベントホール解説４	映像設備について
6	／	知識確認テスト	検定テスト
7	／	オリエンテーション	検定テスト予備日（第１クールの復習と今後の課題について）
8	／	舞台の知識１	劇場の歴史と機能
9	／	舞台進行について	上演へのプロセス
10	／	舞台の安全について	公演における安全管理
11	／	安全実習	安全作業と演出技術
12	／	舞台の知識２	設備運用と基本操作
13	／	知識確認テスト	検定テスト
14	／	オリエンテーション	検定テスト予備日（第２クールの復習と今後の課題について）
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上　果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	デザイナー実務経験有り

□　授業概要

コンテンツ制作に向けて、デザインソフトの応用操作を身につける(Adobe Illustrator、Photoshopの習得)

□　授業テーマ

	授業項目	授業内容
1	CADについて	ＣＡＤの基本操作を理解しよう！仕込み図を書いてみよう～下準備編～
2	Vectorworksについて①（説明・基本操作）	★簡単な図の作成
3	Vectorworksについて②（基本操作：加工方法を覚える）	★簡単な図の作成
4	Vectorworksについて③（基本操作：加工方法を覚える）	★簡単な図の作成
5	Vectorworksについて④（操作の復習）	★課題：図の作成（お題はお楽しみ！）
6	込み図の下準備①（図面の読み方：縮尺について、	★図面に落とす記号を確認し、リストアップする
7	仕込み図の下準備②（音響機材の記号作成、シンボル	★テスト：基本操作、図面についてのペーパーテスト
8	仕込み図の下準備③（番外編：試しに配置してみよ	★ペーパーテストの振り返り　★音響機材の仕上がりチェック
9	CADについて	ＣＡＤの基本操作を理解しよう！仕込み図を書いてみよう～マスター編～ イラストレーターでの簡単な図面編集を覚えよう。
10	仕込み図の下準備④（エスペランサホールの図面作	★図面を読み取り、複製する
11	仕込み図の下準備⑤（エスペランサホールの図面作	★図面を読み取り、複製する
12	仕込み図の下準備⑥（見やすい図面に整える）	★他人が見て、見やすい図面をつくる
13	仕込み図の作成①＜エスペランサホール＞	★イベントに合わせた仕込み図の作成
14	イラストレーションに操作方法	イラストレーターでの図面編集①（イラストレーターの基本操作）
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

授業内での制作課題と期限内での提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	デジタルベーシック			4	竹上　果奈
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	デザイナー実務経験有り

□　授業概要

コンテンツ制作に向けて、デザインソフトの応用操作を身につける(Adobe Illustrator、Photoshopの習得)

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		文章作成	WordとExcelの基本操作
2		文章作成	文書編集/表作成基本
3		印刷について	印刷サイズ位合わとまとめ
4		作成１	文書作成・グラフ作成
5		作成２	文書作成と表作成・グラフ作成のまとめ
6		プリント１	文書作成・グラフ作成のプリント１
7		プリント２	文書作成・グラフ作成のプリント2
8		応用	WordとExcelで書類を作成することができること
9		図形を使った資料１	図形や画像を使った文書作成・ブックの利用と管理/データベース機能
10		図形を使った資料２	図形や画像を使った文書作成問題・関数
11		まとめ１	Word・Excelのまとめの課題１
12		まとめ２	Word・Excelのまとめの課題２
13		まとめ３	Word・Excelのまとめの課題３
14		筆記試験	テスト
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）	音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルート			4	安河内　智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

国家資格「舞台機構調整作業（音響調整作業）3級」取得に向けての対策

□　授業テーマ

検定合格が１つのモティベーションとして導きます。

□　授業項目			□　授業内容
1		ガイダンス	年間スケジュール、授業スケジュール伝達
2		履歴書について	履歴書指導　課題：履歴書購入
3		履歴書について	履歴書指導(証明写真指導) 課題：GW研修レポート提出
4		履歴書について	履歴書指導
5		履歴書について	履歴書指導　課題：証明写真持参
6		履歴書について	履歴書指導　課題：アルバイト経歴書、封筒宛名書き
7		履歴書について	履歴書指完成/提出
8		個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
9		個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
10		個人面談	課題：現場、イベント、体験スタッフ決め
11		研修	7/31、8/1 九州放送機器展　振替
12		野外フェス研修「TRIANGLE」振り返り	課題：夏期活動報告書提出/九州放送機器展レポート提出
13		個人面談	課題：業界EXPOプロフシート
14		個人面談	課題：業界EXPOプロフシート
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

提出物評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　１年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルート			4	安河内　智美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

就活キックオフである業界EXPOに向けてプロフシートを作成する。
作成する上前期で行った自己分析が有効になる。

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
2		プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
3		プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
4		プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
5		プロフシートについて	業界EXPO用プロフシート作成
6		プロフシートについて	プロフシートを使用してのプレゼンテーション(社会性検定)
7		プロフシートについて	プロフシートを使用してのプレゼンテーション(社会性検定)
8		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
9		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
10		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
11		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
12		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
13		個人面談	課題：企業研究/企業ピックアップ
14		個人面談	課題：春期活動スケジュール、希望企業提出
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルート			4	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

内定に向けて個別サポート

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		リクルート	個別サポート
2		リクルート	個別サポート
3		リクルート	個別サポート
4		リクルート	個別サポート
5		リクルート	個別サポート
6		リクルート	個別サポート
7		リクルート	個別サポート
8		リクルート	個別サポート
9		リクルート	個別サポート
10		リクルート	個別サポート
11		リクルート	個別サポート
12		リクルート	個別サポート
13		リクルート	個別サポート
14		リクルート	個別サポート
15		リクルート	個別サポート
16		リクルート	個別サポート

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	リクルート			4	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

内定に向けて個別サポート

□　授業テーマ

		授業項目	授業内容
1		リクルート	個別サポート
2		リクルート	個別サポート
3		リクルート	個別サポート
4		リクルート	個別サポート
5		リクルート	個別サポート
6		リクルート	個別サポート
7		リクルート	個別サポート
8		リクルート	個別サポート
9		リクルート	個別サポート
10		リクルート	個別サポート
11		リクルート	個別サポート
12		リクルート	個別サポート
13		リクルート	個別サポート
14		リクルート	個別サポート
15		リクルート	個別サポート
16		リクルート	個別サポート

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習Ⅱ			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA実務経験多数

□　授業概要

学内イベントにおけるPA業務を担当するための準備授業。

□　授業テーマ

	授業項目	授業内容
1	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	シチュエーションによる音場調整論	スマート調整実習
4	ワイヤレスに関して	ワイヤレス検証
5	音の定位に関して・ab Live説明	オペレーション技法
6	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PA実習Ⅱ			4	國分　優志
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA実務経験多数

□　授業概要

学内イベントにおけるPA業務を担当するための準備授業。

□　授業テーマ

□　授業項目			**□　授業内容**
1	／	ガイダンス	体験入学オペレーション
2	／	電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3	／	シチュエーションによる音場調整論	スマート調整実習
4	／	ワイヤレスに関して	ワイヤレス検証
5	／	音の定位に関して・ab Live説明	オペレーション技法
6	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7	／	イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10	／	夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14	／	学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅱ			4	ライティングオフィスシャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	照明会社

□　授業概要

学内イベントにおける照明業務を担当するための準備授業。

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		ガイダンス	体験入学オペレーション
2		電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3		シチュエーションによる照明調整論	スマート調整実習
4		ムービング	ムービング検証
5		光の特性	オペレーション技法
6		イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7		イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	照明実習Ⅱ			4	ライティングオフィスシャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必選選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	照明会社

□　授業概要

学内イベントにおける照明業務を担当するための準備授業。

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		ガイダンス	体験入学オペレーション
2		電気知識	信号電圧と伝送・増幅に関して
3		シチュエーションによる照明調整論	スマート調整実習
4		ムービング	ムービング検証
5		光の特性	オペレーション技法
6		イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
7		イベント実践	ライブ・演劇イベント対策
8		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
9		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
10		夏体験特別講座企画	ライブ・演劇イベント対策
11		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
12		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
13		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
14		学内イベント対策	ArtsSonic・学園祭対策
15		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		学びの実践	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングⅡ			4	壇浦　正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	マーケター

□　授業概要

確率統計を中心にマーケティング全般を学びます。

□　授業テーマ

過去の事例を参考に、今後のビジョンを模索します。

□　授業項目			□　授業内容
1		マーケティングⅡ-1	マーケティングは有効か？
2		マーケティングⅡ-2	マーケティングの実例
3		マーケティングⅡ-3	ニーズはどこにある？
4		マーケティングⅡ-4	仮説を立てる
5		マーケティングⅡ-5	他業界におけるマーケティング
6		マーケティングⅡ-6	音楽業界のマーケティング１
7		マーケティングⅡ-7	音楽業界のマーケティング２
8		マーケティングⅡ-8	音楽業界のマーケティング３
9		マーケティングⅡ-9	音楽業界のマーケティング４
10		マーケティングⅡ-10	音楽業界のマーケティング５
11		マーケティングⅡ-11	音楽業界のマーケティング６
12		マーケティングⅡ-12	もう一度、マーケットセグメント
13		マーケティングⅡ-13	リピーターとは？
14		マーケティングⅡ-14	筆記試験
15		マーケティングⅡ-15	振り返り
16		マーケティングⅡ-16	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	マーケティングⅡ			4	壇浦　正幸
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	マーケター

□　授業概要

確率統計を中心にマーケティング全般を学びます。

□　授業テーマ

過去の事例を参考に、今後のビジョンを模索します。

□　授業項目			□　授業内容
1		マーケティングⅡ-17	音楽業界のマーケティング
2		マーケティングⅡ-18	エンタメ市場の中の音楽
3		マーケティングⅡ-19	レコード会社について
4		マーケティングⅡ-20	出版社について
5		マーケティングⅡ-21	ユーザーは誰？
6		マーケティングⅡ-22	商品のウリを明確にする
7		マーケティングⅡ-23	価格設定
8		マーケティングⅡ-24	コロナ禍のライブイベント
9		マーケティングⅡ-25	作者の収入源
10		マーケティングⅡ-26	インターネットで売り出す
11		マーケティングⅡ-27	インターンネットで収入
12		マーケティングⅡ-28	売れる曲の共通点はあるのか？
13		マーケティングⅡ-29	日本で活躍する
14		マーケティングⅡ-30	世界で活躍する
15		マーケティングⅡ-31	筆記試験
16		マーケティングⅡ-32	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅡ			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

実践を通して、自分の耳の感度を高める。

□　授業テーマ

機材に振り回されることない、扱う機材で如何に自分の求める音に近づけるのか？

□　授業項目			□　授業内容
1		PT オペレーションⅡ 1	オリエンテーション
2		PT オペレーションⅡ 2	プロツールズのインストール
3		PT オペレーションⅡ 3	プロツールズの原理
4		PT オペレーションⅡ 4	能動的に聴くことの考察・アプローチ
5		PT オペレーションⅡ 5	モニタースピーカー、ヘッドフォン、モニター環境
6		PT オペレーションⅡ 6	ルームアコースティック
7		PT オペレーションⅡ 7	シグナル経路
8		PT オペレーションⅡ 8	マイクの基本
9		PT オペレーションⅡ 9	オリエンテーション
10		PT オペレーションⅡ 10	ミキサーの動作原理
11		PT オペレーションⅡ 11	ゲインステージの物理的理解
12		PT オペレーションⅡ 12	イコライザー動作原理と応用
13		PT オペレーションⅡ 13	コンプレッサーの動作原理と実践
14		PT オペレーションⅡ 14	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15		PT オペレーションⅡ 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PT オペレーションⅡ 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

着地したい自分の音を知る

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PT オペレーションⅡ			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

実践を通して、自分の耳の感度を高める。

□　授業テーマ

機材に振り回されることない、扱う機材で如何に自分の求める音に近づけるのか？

□　授業項目			□　授業内容
1		PT オペレーションⅡ 17	オリエンテーション
2		PT オペレーションⅡ 18	楽器の構造、弦楽器
3		PT オペレーションⅡ 19	楽器の構造、管楽器
4		PT オペレーションⅡ 20	録音手法
5		PT オペレーションⅡ 21	リズム楽器へのアプローチ、グルーブのコントロール
6		PT オペレーションⅡ 22	アコースティック・生楽器・エレクトリック楽器の処理
7		PT オペレーションⅡ 23	楽曲への音楽的なアプローチとクリエイティビティ
8		PT オペレーションⅡ 24	楽器の録音と、録音時のプロセッサーの使い方
9		PT オペレーションⅡ 25	オリエンテーション
10		PT オペレーションⅡ 26	PCMとDSD、記録方式による音質の差異
11		PT オペレーションⅡ 27	演算によるサンプルレートの変換、データ圧縮 、Dither技術
12		PT オペレーションⅡ 28	ハイレゾルーションマスタリングのアプローチ
13		PT オペレーションⅡ 29	MS(Sum and Difference)プロセッシングの原理と実践
14		PT オペレーションⅡ 30	ミックスレベルバランスのとりかた、その考え方
15		PT オペレーションⅡ 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PT オペレーションⅡ 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

着地したい自分の音を知る

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎演習			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA企業運営

□　授業概要

学内のライブイベントと連動し、そのプランと実践を行う。

□　授業テーマ

他学科との連携を最重重要。

□　授業項目			□　授業内容
1		ライブ音響基礎演習 1	ライブイベント実習
2		ライブ音響基礎演習 2	ライブイベント実習
3		ライブ音響基礎演習 3	ライブイベント実習
4		ライブ音響基礎演習 4	ライブイベント実習
5		ライブ音響基礎演習 5	ライブイベント実習
6		ライブ音響基礎演習 6	ライブイベント実習
7		ライブ音響基礎演習 7	ライブイベント実習
8		ライブ音響基礎演習 8	ライブイベント実習
9		ライブ音響基礎演習 9	ライブイベント実習
10		ライブ音響基礎演習 10	ライブイベント実習
11		ライブ音響基礎演習 11	ライブイベント実習
12		ライブ音響基礎演習 12	ライブイベント実習
13		ライブ音響基礎演習 13	ライブイベント実習
14		ライブ音響基礎演習 14	ライブイベント実習
15		ライブ音響基礎演習 15	ライブイベント実習
16		ライブ音響基礎演習 16	ライブイベント実習

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ライブ音響基礎演習			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA企業運営

□　授業概要

学内のライブイベントと連動し、そのプランと実践を行う。

□　授業テーマ

他学科との連携を最重重要。

□　授業項目			□　授業内容
1		ライブ音響基礎演習 17	ライブイベント実習
2		ライブ音響基礎演習 18	ライブイベント実習
3		ライブ音響基礎演習 19	ライブイベント実習
4		ライブ音響基礎演習 20	ライブイベント実習
5		ライブ音響基礎演習 21	ライブイベント実習
6		ライブ音響基礎演習 22	ライブイベント実習
7		ライブ音響基礎演習 23	ライブイベント実習
8		ライブ音響基礎演習 24	ライブイベント実習
9		ライブ音響基礎演習 25	ライブイベント実習
10		ライブ音響基礎演習 26	ライブイベント実習
11		ライブ音響基礎演習 27	ライブイベント実習
12		ライブ音響基礎演習 28	ライブイベント実習
13		ライブ音響基礎演習 29	ライブイベント実習
14		ライブ音響基礎演習 30	ライブイベント実習
15		ライブ音響基礎演習 31	ライブイベント実習
16		ライブ音響基礎演習 32	ライブイベント実習

□　到達目標

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

１年次に学んだスキルを応用し表現する

□　授業テーマ

□　授業項目　　□　授業内容

1		ITBミキシング 1	DAW／Plugin実習
2		ITBミキシング 2	DAW／Plugin実習
3		ITBミキシング 3	DAW／Plugin実習
4		ITBミキシング 4	DAW／Plugin実習
5		ITBミキシング 5	DAW／Plugin実習
6		ITBミキシング 6	DAW／Plugin実習
7		ITBミキシング 7	DAW／Plugin実習
8		ITBミキシング 8	中間課題提出
9		ITBミキシング 9	DAW／Plugin実習
10		ITBミキシング 10	DAW／Plugin実習
11		ITBミキシング 11	DAW／Plugin実習
12		ITBミキシング 12	DAW／Plugin実習
13		ITBミキシング 13	DAW／Plugin実習
14		ITBミキシング 14	DAW／Plugin実習
15		ITBミキシング 15	DAW／Plugin実習
16		ITBミキシング 16	最終課題提出

□　到達目標

夏期現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	ITBミキシング			4	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	レコーディングエンジニア

□　授業概要

１年次に学んだスキルを応用し表現する

□　授業テーマ

	□　授業項目	□　授業内容
1	ITBミキシング 17	DAW／Plugin実習
2	ITBミキシング 18	DAW／Plugin実習
3	ITBミキシング 19	DAW／Plugin実習
4	ITBミキシング 20	DAW／Plugin実習
5	ITBミキシング 21	DAW／Plugin実習
6	ITBミキシング 22	DAW／Plugin実習
7	ITBミキシング 23	DAW／Plugin実習
8	ITBミキシング 24	中間課題提出
9	ITBミキシング 25	DAW／Plugin実習
10	ITBミキシング 26	DAW／Plugin実習
11	ITBミキシング 27	DAW／Plugin実習
12	ITBミキシング 28	DAW／Plugin実習
13	ITBミキシング 29	DAW／Plugin実習
14	ITBミキシング 30	DAW／Plugin実習
15	ITBミキシング 31	DAW／Plugin実習
16	ITBミキシング 32	最終課題提出

□　到達目標

□　評価方法

提出物

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク			8	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア

□　授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業項目　　□　授業内容

1	／	スタジオワーク 1	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク 2	各周波数帯の特徴
3	／	スタジオワーク 3	マスタリング
4	／	スタジオワーク 4	デジタル・アナログ
5	／	スタジオワーク 5	位相・定位による音の変化
6	／	スタジオワーク 6	ラウドネス等踏まえた各種メーター
7	／	スタジオワーク 7	スタジオ機材リストの作成
8	／	スタジオワーク 8	ノイズについての解説
9	／	スタジオワーク 9	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク 10	ワードクロックの解説と重要性
11	／	スタジオワーク 11	アシスタント業務の心構え
12	／	スタジオワーク 12	譜面・ロケーション等の扱い方
13	／	スタジオワーク 13	ゲインコントロールについての解説
14	／	スタジオワーク 14	コンプ等を実践で扱ってみる
15	／	スタジオワーク 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

プロスタジオのワークフローの理解

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	スタジオワーク			8	立川　眞佐人
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	レコーディングエンジニア

□　授業概要

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業テーマ

プロスタジオのワークフローの理解

□　授業項目			□　授業内容
1	／	スタジオワーク 17	オリエンテーション
2	／	スタジオワーク 18	過去と現代の楽曲のエンジニア目線での視聴・考察
3	／	スタジオワーク 19	トラブルシューティング
4	／	スタジオワーク 20	作業の効率化を図る実務訓練
5	／	スタジオワーク 21	作業の効率化を図る実務訓練
6	／	スタジオワーク 22	サンプルレート・ビット深度による音の変化
7	／	スタジオワーク 23	機材理解度チェック
8	／	スタジオワーク 24	シグナルフロー理解
9	／	スタジオワーク 25	オリエンテーション
10	／	スタジオワーク 26	録音実習(1)
11	／	スタジオワーク 27	録音実習(2)
12	／	スタジオワーク 28	録音実習(3)
13	／	スタジオワーク 29	録音実習(4)
14	／	スタジオワーク 30	ミキシング実習(1)
15	／	スタジオワーク 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	スタジオワーク 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

プロスタジオのワークフローの理解

□　評価方法

課題、プレゼンテーションでの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション			4	山臺　昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PT業務実績有り

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

	□　授業項目	□　授業内容
1	PTオペレーション 1	オリエンテーション、課題発表
2	PTオペレーション 2	個別制作活動
3	PTオペレーション 3	個別制作活動
4	PTオペレーション 4	個別制作活動
5	PTオペレーション 5	個別制作活動
6	PTオペレーション 6	個別制作活動
7	PTオペレーション 7	課題提出
8	PTオペレーション 8	課題発表
9	PTオペレーション 9	個別制作活動
10	PTオペレーション 10	個別制作活動
11	PTオペレーション 11	個別制作活動
12	PTオペレーション 12	個別制作活動
13	PTオペレーション 13	個別制作活動
14	PTオペレーション 14	課題提出
15	PTオペレーション 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	PTオペレーション 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PTオペレーション			4	山臺　昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PT業務実績有り

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

各現場での音響業務の把握と現
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業項目			□　授業内容
1		PTオペレーション 17	オリエンテーション、課題発表
2		PTオペレーション 18	個別制作活動
3		PTオペレーション 19	個別制作活動
4		PTオペレーション 20	個別制作活動
5		PTオペレーション 21	個別制作活動
6		PTオペレーション 22	個別制作活動
7		PTオペレーション 23	課題提出
8		PTオペレーション 24	課題発表
9		PTオペレーション 25	個別制作活動
10		PTオペレーション 26	個別制作活動
11		PTオペレーション 27	個別制作活動
12		PTオペレーション 28	個別制作活動
13		PTオペレーション 29	個別制作活動
14		PTオペレーション 30	課題提出
15		PTオペレーション 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		PTオペレーション 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート			8	永田 健志、尾池 善充、吉永 匡
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	128	ミュージシャン

□　授業概要

学内コンサートホールを使っての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		アンサンブルオペレート 1	オリエンテーション
2		アンサンブルオペレート 2	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3		アンサンブルオペレート 3	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4		アンサンブルオペレート 4	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5		アンサンブルオペレート 5	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2)、ライブ音響・レコーディング実習
6		アンサンブルオペレート 6	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7		アンサンブルオペレート 7	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8		アンサンブルオペレート 8	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9		アンサンブルオペレート 9	オリエンテーション
10		アンサンブルオペレート 10	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11		アンサンブルオペレート 11	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12		アンサンブルオペレート 12	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13		アンサンブルオペレート 13	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14		アンサンブルオペレート 14	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15		アンサンブルオペレート 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		アンサンブルオペレート 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

課題、プレゼンテーションで評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アンサンブルオペレート			8	永田 健志、尾池 善充、吉永 匡
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	128	ミュージシャン

□　授業概要

学内コンサートホールを使っての、「合奏」を通じて生の楽器の音の扱いを知る

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1		アンサンブルオペレート 17	オリエンテーション
2		アンサンブルオペレート 18	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
3		アンサンブルオペレート 19	シンプルな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
4		アンサンブルオペレート 20	ドラムとベースの関係性、ライブ音響・レコーディング実習
5		アンサンブルオペレート 21	ドラムとベースの関係性の理解（楽曲2)、ライブ音響・レコーディング実習
6		アンサンブルオペレート 22	スピーディーな8ビートの楽曲、ライブ音響・レコーディング実習
7		アンサンブルオペレート 23	スピーディーな8ビートの楽曲をスムーズに演奏、ライブ音響・レコーディング実習
8		アンサンブルオペレート 24	ブルース研究、簡単なブルースセッション、ライブ音響・レコーディング実習
9		アンサンブルオペレート 25	オリエンテーション
10		アンサンブルオペレート 26	16ビートのフィーリングの習得、ライブ音響・レコーディング実習
11		アンサンブルオペレート 27	シャッフルのリズム、ライブ音響・レコーディング実習
12		アンサンブルオペレート 28	ファンクグルーヴ、ライブ音響・レコーディング実習
13		アンサンブルオペレート 29	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
14		アンサンブルオペレート 30	セッション（合奏）、ライブ音響・レコーディング実習
15		アンサンブルオペレート 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		アンサンブルオペレート 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

課題、プレゼンテーションで評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA会社運営

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目			□　授業内容
1	／	PAスタッフワーク 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	PAスタッフワーク 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	PAスタッフワーク 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	PAスタッフワーク 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	PAスタッフワーク 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	PAスタッフワーク 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	PAスタッフワーク 7	テスト（学校機材に関する内容）
8	／	PAスタッフワーク 8	機材在庫管理と整理整頓
9	／	PAスタッフワーク 9	ケーブルメンテナンス
10	／	PAスタッフワーク 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	PAスタッフワーク 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	PAスタッフワーク 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	PAスタッフワーク 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	PAスタッフワーク 14	テスト（学校機材に関する内容）
15	／	PAスタッフワーク 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PAスタッフワーク 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得実技試験による評価期
現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に
付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	PAスタッフワーク			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA会社運営

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目　　□　授業内容

1	／	PAスタッフワーク 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	PAスタッフワーク 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	PAスタッフワーク 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	PAスタッフワーク 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	PAスタッフワーク 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	PAスタッフワーク 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	PAスタッフワーク 23	テスト（学校機材に関する内容）
8	／	PAスタッフワーク 24	機材在庫管理と整理整頓
9	／	PAスタッフワーク 25	ケーブルメンテナンス
10	／	PAスタッフワーク 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	PAスタッフワーク 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	PAスタッフワーク 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	PAスタッフワーク 29	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	PAスタッフワーク 30	テスト（学校機材に関する内容）
15	／	PAスタッフワーク 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	PAスタッフワーク 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得実技試験による評価期
現場活動に向け、現場にて対応できる基礎力を身に
付ける。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Protools			4	山臺　昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PTオペレーター

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目			□　授業内容
1		Protools 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2		Protools 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3		Protools 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4		Protools 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5		Protools 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6		Protools 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7		Protools 7	AUXの説明
8		Protools 8	機材在庫管理と整理整頓
9		Protools 9	ケーブルメンテナンス
10		Protools 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11		Protools 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12		Protools 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13		Protools 13	結婚式の式次第に沿った実習
14		Protools 14	第3クール課題作成について
15		Protools 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		Protools 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Protools			4	山臺　昭広
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PTオペレーター

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現

どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる

現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目			□　授業内容
1		Protools 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2		Protools 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3		Protools 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4		Protools 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5		Protools 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6		Protools 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7		Protools 23	第4クール課題作成について
8		Protools 24	機材在庫管理と整理整頓
9		Protools 25	ケーブルメンテナンス
10		Protools 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11		Protools 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12		Protools 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13		Protools 29	結婚式の式次第に沿った実習
14		Protools 30	総括
15		Protools 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		Protools 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

筆記試験

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）	音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Excel/Word			4	小磯　一成
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	Macオペレーター

□　授業概要

Excel/Wordの基本的操作を学び、活用方法を知る。

□　授業テーマ

□　授業項目　　**□　授業内容**

1	／	Excel/Word 1	Excel/Word概要
2	／	Excel/Word 2	ソフトウェアの目的、概要、搭載機能について学ぶ
3	／	Excel/Word 3	フォント、段落、字下げ、インデント、箇条書きなど基本技術を学ぶ。
4	／	Excel/Word 4	ページレイアウトの書式設定（余白、文字数、行数など）を学ぶ。
5	／	Excel/Word 5	Wordでの表作成や図形描画について学び、表、図形や写真を組み込んだ文書を作成する。
6	／	Excel/Word 6	課題作成１
7	／	Excel/Word 7	ソフトウェアの目的、概要、搭載機能について学ぶ。
8	／	Excel/Word 8	表を作成し、体裁を整える方法を学ぶ。
9	／	Excel/Word 9	データ表を作成し、基本的な関数を用いて計算する技術を学ぶ。
10	／	Excel/Word 10	データ表を基に各種グラフを作成する方法を学ぶ。
11	／	Excel/Word 11	並べ替え、オートフィルタなど、データ整理方法について学ぶ。
12	／	Excel/Word 12	レポートなどで使えると便利な関数について学ぶ。
13	／	Excel/Word 13	課題作成２
14	／	Excel/Word 14	ビジネス文章を作成しよう！
15	／	Excel/Word 15	タイムスケジュールを作成しよう！
16	／	Excel/Word 16	レポートの体裁を整え、提出する。

□　到達目標

□　評価方法

課題提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）	音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	Excel/Word			4	小磯　一成
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	Macオペレーター

□　授業概要

Excel/Wordで書類を作成する。

□　授業テーマ

目的に合わせた機能を使用できるか？

	□　授業項目	**□　授業内容**
1	Excel/Word 17	オリエンテーション、ビジネス文章とは？
2	Excel/Word 18	案内文書を作成作成する
3	Excel/Word 19	表作成機能をつかってみる
4	Excel/Word 20	段組み機能
5	Excel/Word 21	表・段組みを使用した文書の作成
6	Excel/Word 22	Word機能の応用 1
7	Excel/Word 23	Word機能の応用 2
8	Excel/Word 24	関数の基礎・絶対参照と相対参照
9	Excel/Word 25	表とグラフの作成と編集
10	Excel/Word 26	関数の応用1
11	Excel/Word 27	条件関数を使用した表の作成
12	Excel/Word 28	関数の応用2(検索関数:vlookup)
13	Excel/Word 29	検索関数を使用した表の作成
14	Excel/Word 30	ピボットテーブル機能
15	Excel/Word 31	課題
16	Excel/Word 32	振り返り

□　到達目標

□　評価方法

課題提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企画制作実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	CMプランナー

□　授業概要

チーム企画をもとにしたグループ制作

□　授業テーマ

ゼロから立ち上げる企画と実践

□　授業項目			□　授業内容
1		企画制作実践 1	グループ制作__ブレインストーミング
2		企画制作実践 2	グループ制作__マーケティング分析
3		企画制作実践 3	グループ制作__企画制作
4		企画制作実践 4	グループ制作__マーケットリサーチ
5		企画制作実践 5	グループ制作__レポート制作
6		企画制作実践 6	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
7		企画制作実践 7	グループ制作__ブレインストーミング
8		企画制作実践 8	グループ制作__マーケティング分析
9		企画制作実践 9	グループ制作__企画制作
10		企画制作実践 10	グループ制作__マーケットリサーチ
11		企画制作実践 11	グループ制作__レポート制作
12		企画制作実践 12	理解度確認__レポートプレゼンテーション・ディベート
13		企画制作実践 13	ポートフォリオ作成
14		企画制作実践 14	ポートフォリオ作成
15		企画制作実践 15	ポートフォリオ作成
16		企画制作実践 16	課題テスト：ポートフォリオ提出

□　到達目標

チームとして動き、自分の役割を持つ。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企画制作実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	CMプランナー

□　授業概要

チーム企画をもとにしたグループ制作

□　授業テーマ

ゼロから立ち上げる企画と実践

□　授業項目			□　授業内容
1		企画制作実践 17	グループ制作＿ブレインストーミング
2		企画制作実践 18	グループ制作＿マーケティング分析
3		企画制作実践 19	グループ制作＿企画制作
4		企画制作実践 20	グループ制作＿マーケットリサーチ
5		企画制作実践 21	グループ制作＿レポート制作
6		企画制作実践 22	理解度確認＿レポートプレゼンテーション・ディベート
7		企画制作実践 23	グループ制作＿ブレインストーミング
8		企画制作実践 24	グループ制作＿マーケティング分析
9		企画制作実践 25	グループ制作＿企画制作
10		企画制作実践 26	グループ制作＿マーケットリサーチ
11		企画制作実践 27	グループ制作＿レポート制作
12		企画制作実践 28	理解度確認＿レポートプレゼンテーション・ディベート
13		企画制作実践 29	ポートフォリオ作成
14		企画制作実践 30	ポートフォリオ作成
15		企画制作実践 31	ポートフォリオ作成
16		企画制作実践 32	課題テスト：ポートフォリオ提出

□　到達目標

チームとして動き、自分の役割を持つ。

□　評価方法

筆記試験（機材）

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台制作演習			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

舞台に関わる言葉を知り、イベントを運営する流れを把握する。
限られた時間の中で効率的に活動するためのタイムスケジュールを作成します。

□　授業テーマ

実際のイベントと連動し、運営します。

	□　授業項目	**□　授業内容**
1	舞台制作演習 1	概要と進行
2	舞台制作演習 2	劇場や舞台での仕事内容
3	舞台制作演習 3	舞台制作上での必要な言葉とマナー
4	舞台制作演習 4	道具と扱い方
5	舞台制作演習 5	搬入と搬出について
6	舞台制作演習 6	簡単なセットを組んでみよう！
7	舞台制作演習 7	終演後の片付けの流れ
8	舞台制作演習 8	振り返り
9	舞台制作演習 9	企画立案
10	舞台制作演習 10	目的にあったSETを組んでみよう！
11	舞台制作演習 11	リハーサルについて 1
12	舞台制作演習 12	リハーサルについて 2
13	舞台制作演習 13	リハーサルについて 3
14	舞台制作演習 14	タイムスケジュールの重要性
15	舞台制作演習 15	舞台監督とは？
16	舞台制作演習 16	前期総括

□　到達目標

舞台監督の立ち位置や、事前準備の必要性を理解します。

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台制作演習			4	西日本企画サービス
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	イベント企画運営会社

□　授業概要

舞台に関わる言葉を知り、イベントを運営する流れを把握する。
限られた時間の中で効率的に活動するためのタイムスケジュールを作成します。

□　授業テーマ

実際のイベントと連動し、運営します。

□　授業項目			□　授業内容
1		舞台制作演習 17	シチェーション1
2		舞台制作演習 18	シチェーション1
3		舞台制作演習 19	シチェーション1
4		舞台制作演習 20	シチェーション1
5		舞台制作演習 21	シチェーション 2
6		舞台制作演習 22	シチェーション 2
7		舞台制作演習 23	シチェーション 2
8		舞台制作演習 24	シチェーション 2
9		舞台制作演習 25	シチュエーション 3
10		舞台制作演習 26	シチュエーション 3
11		舞台制作演習 27	シチュエーション 3
12		舞台制作演習 28	シチュエーション 3
13		舞台制作演習 29	シチュエーション 4
14		舞台制作演習 30	シチュエーション 4
15		舞台制作演習 31	シチュエーション 4
16		舞台制作演習 32	後期総括

□　到達目標

舞台監督の立ち位置や、事前準備の必要性を理解します。

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	運営手法実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	CMプランナー

□　授業概要

他授業とリンクしながら、予算書の作成を行う。

□　授業テーマ

予算書の作成とプレゼンテーションスキルの向上。

□　授業項目			□　授業内容
1		運営手法実践 1	プロモーションプランニングとシミュレーション
2		運営手法実践 2	プロモーションプランニングとシミュレーション
3		運営手法実践 3	プロモーションプランニングとシミュレーション
4		運営手法実践 4	プロモーションプランニングとシミュレーション
5		運営手法実践 5	プロモーションプランニングとシミュレーション
6		運営手法実践 6	プロモーションプランニングとシミュレーション
7		運営手法実践 7	計画書と予算書の提出　内容評価
8		運営手法実践 8	プロモーションプランニングとシミュレーション
9		運営手法実践 9	プロモーションプランニングとシミュレーション
10		運営手法実践 10	プロモーションプランニングとシミュレーション
11		運営手法実践 11	プロモーションプランニングとシミュレーション
12		運営手法実践 12	プロモーションプランニングとシミュレーション
13		運営手法実践 13	プロモーションプランニングとシミュレーション
14		運営手法実践 14	計画書と予算書の提出とプレゼンテーション　内容評価
15		運営手法実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		運営手法実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

予算書の作成

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	運営手法実践			4	長谷　公平
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	CMプランナー

□　授業概要

他授業とリンクしながら、予算書の作成を行う。

□　授業テーマ

プレゼンテーションスキルの向上。

□　授業項目			□　授業内容
1		運営手法実践 17	プロモーションプランに沿った宣伝
2		運営手法実践 18	プロモーションプランに沿った宣伝
3		運営手法実践 19	プロモーションプランに沿った宣伝
4		運営手法実践 20	プロモーションプランに沿った宣伝
5		運営手法実践 21	プロモーションプランに沿った宣伝
6		運営手法実践 22	プロモーションプランに沿った宣伝
7		運営手法実践 23	プロモーション実績　内容評価
8		運営手法実践 24	プロモーションプランに沿った宣伝
9		運営手法実践 25	プロモーションプランに沿った宣伝
10		運営手法実践 26	プロモーションプランに沿った宣伝
11		運営手法実践 27	プロモーションプランに沿った宣伝
12		運営手法実践 28	プロモーションプランに沿った宣伝
13		運営手法実践 29	プロモーションプランに沿った宣伝
14		運営手法実践 30	プロモーション実績　内容評価
15		運営手法実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		運営手法実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

宣伝媒体の完成度

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイディアプランニング実践			4	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	AD事務経験有り

□　授業概要

脳の中のヒラメキや深まった考えを文章や図などに視覚化します。
アイディアが具現化できるものかどうかを検証します。

□　授業テーマ

まずは、面白いと感じる実感を捉えます。その実感を共感に変えていくことを実践していきます。

□　授業項目			□　授業内容
1	／	アイディアプランニング実践 1	授業の流れと目的を共有します
2	／	アイディアプランニング実践 2	身近な「面白い・楽しい」について話す
3	／	アイディアプランニング実践 3	その理由を見つける
4	／	アイディアプランニング実践 4	テーマに沿ってオリジナル企画を考える
5	／	アイディアプランニング実践 5	企画をプレゼンテーションする
6	／	アイディアプランニング実践 6	企画を再考する
7	／	アイディアプランニング実践 7	前半振り返り
8	／	アイディアプランニング実践 8	樹形図を使ったアイデア出し①
9	／	アイディアプランニング実践 9	樹形図を使ったアイデア出し②
10	／	アイディアプランニング実践 10	樹形図を使ったアイデア出し③
11	／	アイディアプランニング実践 11	アイデアを組み合わせる①
12	／	アイディアプランニング実践 12	アイデアを組み合わせる②
13	／	アイディアプランニング実践 13	条件付きの企画について考える①
14	／	アイディアプランニング実践 14	条件付きの企画について考える②
15	／	アイディアプランニング実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アイディアプランニング実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

アイディアを（視覚化）まとめる

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	アイディアプランニング実践			4	上田　真美
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	AD実務経験有り

□　授業概要

イベントを運営する上で、仲間との情報のスムーズな共有や、より良いものを作るための会議などでの深める作業を、ブレインストーミングの方法で体感します。

□　授業テーマ

いいものを作ろうとするとき、必ずといっていいほど、意見の相違が生まれます。この相違は、いいものが生まれるために起こります。この理解のもと、次どこに着地点を持っておけばいいのか？を探ります。

□　授業項目			□　授業内容
1	／	アイディアプランニング実践 17	ブレインストーミングを知る
2	／	アイディアプランニング実践 18	テーマ①についてブレストする
3	／	アイディアプランニング実践 19	テーマ①のアイデアを整理する
4	／	アイディアプランニング実践 20	テーマ②についてブレストする
5	／	アイディアプランニング実践 21	テーマ②のアイデアを整理する
6	／	アイディアプランニング実践 22	テーマ③についてブレストする
7	／	アイディアプランニング実践 23	前半振り返り
8	／	アイディアプランニング実践 24	テーマ①についてグループ企画を考えプレゼンする
9	／	アイディアプランニング実践 25	テーマ①のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
10	／	アイディアプランニング実践 26	テーマ②についてグループ企画を考えプレゼンする
11	／	アイディアプランニング実践 27	テーマ②のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
12	／	アイディアプランニング実践 28	テーマ③についてグループ企画を考えプレゼンする
13	／	アイディアプランニング実践 29	テーマ③のプレゼンから企画のメリット・デメリットを考える
14	／	アイディアプランニング実践 30	１年間のまとめ
15	／	アイディアプランニング実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	アイディアプランニング実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

他者の意見を吸収し、自分の意見との融合を目指す

□　評価方法

ブレインストーミングによる総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出実践			4	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

就活に必要な書類の必要性を理解し、準備します。
定期的な面談を通して、受験希望の企業を絞り込み、受験に備えます。

□　授業テーマ

業界EXPOに向けて、履歴書、プロフィールシートの完成を目指します。

	□　授業項目	□　授業内容
1	業界進出実践 1	履歴書、プロフィールシート作成の指導
2	業界進出実践 2	履歴書、プロフィールシート作成の指導
3	業界進出実践 3	履歴書、プロフィールシート作成の指導
4	業界進出実践 4	履歴書、プロフィールシート作成の指導
5	業界進出実践 5	履歴書、プロフィールシート作成の指導
6	業界進出実践 6	履歴書、プロフィールシート作成の指導
7	業界進出実践 7	履歴書、プロフィールシート作成の指導
8	業界進出実践 8	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
9	業界進出実践 9	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
10	業界進出実践 10	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
11	業界進出実践 11	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
12	業界進出実践 12	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
13	業界進出実践 13	テーマに沿った内容のプレゼンと合評/志望する企業の選定
14	業界進出実践 14	春活動期間の目標設定とスケジュール確認
15	業界進出実践 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	業界進出実践 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

プロフィールシートの完成

□　評価方法

履歴書、フォロフィールシート提出

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	業界進出実践			4	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	キャリアサポート

□　授業概要

９月７０％内定を目指し、個別にサポートします。

□　授業テーマ

提出物を意識させ、より丁寧な提出物、感情移入する提出物を目指す。

□　授業項目			**□　授業内容**
1	／	業界進出実践 17	春休み活動期間振り返り/企業の選定と履歴書作成のフォロー
2	／	業界進出実践 18	企業の選定と履歴書作成のフォロー
3	／	業界進出実践 19	企業の選定と履歴書作成のフォロー
4	／	業界進出実践 20	企業の選定と履歴書作成のフォロー
5	／	業界進出実践 21	企業の選定と履歴書作成のフォロー
6	／	業界進出実践 22	企業の選定と履歴書作成のフォロー
7	／	業界進出実践 23	企業の選定と履歴書作成のフォロー
8	／	業界進出実践 24	企業の選定と履歴書作成のフォロー
9	／	業界進出実践 25	企業の選定と履歴書作成のフォロー
10	／	業界進出実践 26	夏活動期間の就職活動計画を作成
11	／	業界進出実践 27	夏活活動期間振り返り/企業の選定と履歴書作成のフォロー
12	／	業界進出実践 28	企業の選定と履歴書作成のフォロー
13	／	業界進出実践 29	企業の選定と履歴書作成のフォロー
14	／	業界進出実践 30	企業の選定と履歴書作成のフォロー
15	／	業界進出実践 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	業界進出実践 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

この授業期間中に内定70%を目指す。

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　1年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	キャリアサポート実績

□　授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
（学内での準備も含む）

□　授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

	□　授業項目	□　授業内容
1	企業研修 1	学内では学べない経験を直接的に体験
2	企業研修 2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	企業研修 3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	企業研修 4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	企業研修 5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	企業研修 6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	企業研修 7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	企業研修 8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	企業研修 9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	企業研修 10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	企業研修 11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	企業研修 12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	企業研修 13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	企業研修 14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	企業研修 15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	企業研修 16	学内では学べない経験を直接的に体験

□　到達目標

現場理解を深める。

□　評価方法

企業側からの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	224	キャリアサポート実績

□　授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
（学内での準備も含む）

□　授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

	□　授業項目	**□　授業内容**
1	企業研修 17	学内では学べない経験を直接的に体験
2	企業研修 18	学内では学べない経験を直接的に体験
3	企業研修 19	学内では学べない経験を直接的に体験
4	企業研修 20	学内では学べない経験を直接的に体験
5	企業研修 21	学内では学べない経験を直接的に体験
6	企業研修 22	学内では学べない経験を直接的に体験
7	企業研修 23	学内では学べない経験を直接的に体験
8	企業研修 24	学内では学べない経験を直接的に体験
9	企業研修 25	学内では学べない経験を直接的に体験
10	企業研修 26	学内では学べない経験を直接的に体験
11	企業研修 27	学内では学べない経験を直接的に体験
12	企業研修 28	学内では学べない経験を直接的に体験
13	企業研修 29	学内では学べない経験を直接的に体験
14	企業研修 30	学内では学べない経験を直接的に体験
15	企業研修 31	学内では学べない経験を直接的に体験
16	企業研修 32	学内では学べない経験を直接的に体験

□　到達目標

現場理解を深める。

□　評価方法

企業側からの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修			14	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	224	キャリアサポート実績

□　授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
（学内での準備も含む）

□　授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

	授業項目	授業内容
1	企業研修 33	学内では学べない経験を直接的に体験
2	企業研修 34	学内では学べない経験を直接的に体験
3	企業研修 35	学内では学べない経験を直接的に体験
4	企業研修 36	学内では学べない経験を直接的に体験
5	企業研修 37	学内では学べない経験を直接的に体験
6	企業研修 38	学内では学べない経験を直接的に体験
7	企業研修 39	学内では学べない経験を直接的に体験
8	企業研修 40	学内では学べない経験を直接的に体験
9	企業研修 41	学内では学べない経験を直接的に体験
10	企業研修 42	学内では学べない経験を直接的に体験
11	企業研修 43	学内では学べない経験を直接的に体験
12	企業研修 44	学内では学べない経験を直接的に体験
13	企業研修 45	学内では学べない経験を直接的に体験
14	企業研修 46	学内では学べない経験を直接的に体験
15	企業研修 47	学内では学べない経験を直接的に体験
16	企業研修 48	学内では学べない経験を直接的に体験

□　到達目標

現場理解を深める。

□　評価方法

企業側からの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修Ⅱ			12	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	192	キャリアサポート実績

□　授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
（学内での準備も含む）

□　授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

	授業項目		授業内容
1	／		学内では学べない経験を直接的に体験
2	／	企業研修 II-2	学内では学べない経験を直接的に体験
3	／	企業研修 II-3	学内では学べない経験を直接的に体験
4	／	企業研修 II-4	学内では学べない経験を直接的に体験
5	／	企業研修 II-5	学内では学べない経験を直接的に体験
6	／	企業研修 II-6	学内では学べない経験を直接的に体験
7	／	企業研修 II-7	学内では学べない経験を直接的に体験
8	／	企業研修 II-8	学内では学べない経験を直接的に体験
9	／	企業研修 II-9	学内では学べない経験を直接的に体験
10	／	企業研修 II-10	学内では学べない経験を直接的に体験
11	／	企業研修 II-11	学内では学べない経験を直接的に体験
12	／	企業研修 II-12	学内では学べない経験を直接的に体験
13	／	企業研修 II-13	学内では学べない経験を直接的に体験
14	／	企業研修 II-14	学内では学べない経験を直接的に体験
15	／	企業研修 II-15	学内では学べない経験を直接的に体験
16	／	企業研修 II-16	学内では学べない経験を直接的に体験

□　到達目標

現場理解を深める。

□　評価方法

企業側からの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	企業研修Ⅱ			12	大番　隆史
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	192	キャリアサポート実績

□　授業概要

現場経験の重要性を理解し、現場での実践を体験する。
（学内での準備も含む）

□　授業テーマ

授業では学べない、撮影現場での直接的な気づきを得る。

	授業項目	授業内容
1	企業研修 Ⅱ-17	学内では学べない経験を直接的に体験
2	企業研修 Ⅱ-18	学内では学べない経験を直接的に体験
3	企業研修 Ⅱ-19	学内では学べない経験を直接的に体験
4	企業研修 Ⅱ-20	学内では学べない経験を直接的に体験
5	企業研修 Ⅱ-21	学内では学べない経験を直接的に体験
6	企業研修 Ⅱ-22	学内では学べない経験を直接的に体験
7	企業研修 Ⅱ-23	学内では学べない経験を直接的に体験
8	企業研修 Ⅱ-24	学内では学べない経験を直接的に体験
9	企業研修 Ⅱ-25	学内では学べない経験を直接的に体験
10	企業研修 Ⅱ-26	学内では学べない経験を直接的に体験
11	企業研修 Ⅱ-27	学内では学べない経験を直接的に体験
12	企業研修 Ⅱ-28	学内では学べない経験を直接的に体験
13	企業研修 Ⅱ-29	学内では学べない経験を直接的に体験
14	企業研修 Ⅱ-30	学内では学べない経験を直接的に体験
15	企業研修 Ⅱ-31	学内では学べない経験を直接的に体験
16	企業研修 Ⅱ-32	学内では学べない経験を直接的に体験

□　到達目標

現場理解を深める。

□　評価方法

企業側からの評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベントプランニング			4	高松　由紀子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	AD実務経験者

□　授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□　授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□　授業項目			□　授業内容
1		イベントプランニング 1	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2		イベントプランニング 2	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3		イベントプランニング 3	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4		イベントプランニング 4	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5		イベントプランニング 5	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6		イベントプランニング 6	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7		イベントプランニング 7	途中振り返り
8		イベントプランニング 8	到達テーマの企画制作　イベントの実施
9		イベントプランニング 9	到達テーマの企画制作　イベントの実施
10		イベントプランニング 10	到達テーマの企画制作　イベントの実施
11		イベントプランニング 11	到達テーマの企画制作　イベントの実施
12		イベントプランニング 12	到達テーマの企画制作　イベントの実施
13		イベントプランニング 13	到達テーマの企画制作　イベントの実施
14		イベントプランニング 14	試験　実施における実績と収支にて評価
15		イベントプランニング 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		イベントプランニング 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントを成立させる

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	イベントプランニング			4	高松　由紀子
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	AD実務経験者

□　授業概要

実践を通して、到達目標を明確にしながらイベントの手法を学びます。

□　授業テーマ

実践における障壁を事前に捉える力を養います。

□　授業項目			□　授業内容
1		イベントプランニング 17	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
2		イベントプランニング 18	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
3		イベントプランニング 19	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
4		イベントプランニング 20	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
5		イベントプランニング 21	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
6		イベントプランニング 22	到達テーマの企画制作手法と基礎的考え方
7		イベントプランニング 23	途中振り返り
8		イベントプランニング 24	到達テーマの企画制作　イベントの実施
9		イベントプランニング 25	到達テーマの企画制作　イベントの実施
10		イベントプランニング 26	到達テーマの企画制作　イベントの実施
11		イベントプランニング 27	到達テーマの企画制作　イベントの実施
12		イベントプランニング 28	到達テーマの企画制作　イベントの実施
13		イベントプランニング 29	到達テーマの企画制作　イベントの実施
14		イベントプランニング 30	試験　実施における実績と収支にて評価
15		イベントプランニング 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		イベントプランニング 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

イベントを成立させる

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台音響技術			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	PA会社運営

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得

□　授業テーマ

機材メンテナンスの重要性を学び、トラブルシューテンングに対応する。

□　授業項目			□　授業内容
1	／	舞台音響技術 1	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2	／	舞台音響技術 2	工具の使い方と注意点について学ぶ
3	／	舞台音響技術 3	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4	／	舞台音響技術 4	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5	／	舞台音響技術 5	ホール業務の内容と音響システムの把握
6	／	舞台音響技術 6	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7	／	舞台音響技術 7	前半振り返り
8	／	舞台音響技術 8	機材在庫管理と整理整頓
9	／	舞台音響技術 9	ケーブルメンテナンス
10	／	舞台音響技術 10	音楽催事に対応できる人材となろう
11	／	舞台音響技術 11	音楽催事に対応できる人材となろう
12	／	舞台音響技術 12	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13	／	舞台音響技術 13	結婚式の式次第に沿った実習
14	／	舞台音響技術 14	後半振り返り
15	／	舞台音響技術 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16	／	舞台音響技術 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台音響技術			4	平井　克樹
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	PA会社運営

□　授業概要

各現場での音響業務の把握と現場状況に応じた対応力の習得
どんな現場でも対応できる力を身に着ける。

□　授業テーマ

作業効率を上げる為のアイデアをイメージ出来るようになる
現場での機材トラブル対応力を身に着ける

□　授業項目			□　授業内容
1		舞台音響技術 17	メンテナンスの必要性と方法などを説明
2		舞台音響技術 18	工具の使い方と注意点について学ぶ
3		舞台音響技術 19	機材在庫管理と故障機材のリストアップと修理計画
4		舞台音響技術 20	電気機の法令と照らし合わせ修理の方法を決定する
5		舞台音響技術 21	ホール業務の内容と音響システムの把握
6		舞台音響技術 22	講演会、発表会、乗り込み対応などの演習
7		舞台音響技術 23	前半振り返り
8		舞台音響技術 24	機材在庫管理と整理整頓
9		舞台音響技術 25	ケーブルメンテナンス
10		舞台音響技術 26	音楽催事に対応できる人材となろう
11		舞台音響技術 27	音楽催事に対応できる人材となろう
12		舞台音響技術 28	バンケット業務の内容と音響システムの把握
13		舞台音響技術 29	結婚式の式次第に沿った実習
14		舞台音響技術 30	後半振り返り
15		舞台音響技術 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		舞台音響技術 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

メンテナンス方法の習得

□　評価方法

実技試験による評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（前期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明技術			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	前期 4月～9月	演習	選択	64	照明会社

□　授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

□　授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

□　授業項目			□　授業内容
1		舞台照明技術 1	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2		舞台照明技術 2	A館玄関　進撃の巨人前ライトアップ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3		舞台照明技術 3	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4		舞台照明技術 4	2F 学生ホール　JAZZライブ想定のオペレーション　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5		舞台照明技術 5	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6		舞台照明技術 6	A館2F バー実習室ライトアップ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7		舞台照明技術 7	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8		舞台照明技術 8	B館8階　ホテル実習室でホラー映画演出　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9		舞台照明技術 9	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10		舞台照明技術 10	B館7階　バンケットルームで模擬披露宴　PAの参加も要請する予定
11		舞台照明技術 11	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12		舞台照明技術 12	A館8階廊下　ランウェイに見立ててファッションショー　時間内に仕込み～撤去まで終わらせ
13		舞台照明技術 13	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14		舞台照明技術 14	2F 学生ホール　アコースティックライブ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15		舞台照明技術 15	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		舞台照明技術 16	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他

2022年度（後期）　　音響学科　2年

授業コード	授業科目名			週間授業時数	担当講師名
	舞台照明技術			4	有限会社ライティング・オフィス・シャドー
コースNo.	授業期間	授業分類	必須・必須選択・選択	年間授業時数	実務経験
	後期 10月～3月	演習	選択	64	照明会社

□　授業概要

仮設現場を想定してのプランニング～オペレート

□　授業テーマ

どれがの仮想現場を想定できるか？起こりうる課題を共有する。

□　授業項目			□　授業内容
1		舞台照明技術 17	授業内容説明、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
2		舞台照明技術 18	A館玄関　進撃の巨人前ライトアップ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
3		舞台照明技術 19	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
4		舞台照明技術 20	2F 学生ホール　JAZZライブ想定のオペレーション　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
5		舞台照明技術 21	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
6		舞台照明技術 22	A館2F バー実習室ライトアップ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
7		舞台照明技術 23	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
8		舞台照明技術 24	B館8階　ホテル実習室でホラー映画演出　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
9		舞台照明技術 25	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
10		舞台照明技術 26	B館7階　バンケットルームで模擬披露宴　PAの参加も要請する予定
11		舞台照明技術 27	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
12		舞台照明技術 28	A館8階廊下　ランウェイに見立ててファッションショー　時間内に仕込み～撤去まで終わらせ
13		舞台照明技術 29	前回の振り返り、チーフ決め、会場の下見、電源の確認、設定の発表に基づいたプランニング
14		舞台照明技術 30	2F 学生ホール　アコースティックライブ　時間内に仕込み～撤去まで終わらせる
15		舞台照明技術 31	学期末学習実践期間/学習フォロー実施
16		舞台照明技術 32	学期末学習実践期間/学習フォロー実施

□　到達目標

さまざまなシチュエーションでの照明担当を体験する

□　評価方法

総合評価

□　教科書　・　参考文献

□　その他